

2024.3.15 理事会議決

2024.3.22 評議員会議決

2024(令和 6)年度

# 事業計画書

社会福祉法人 恵仁福祉協会

高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ



## 目次

1. 法人の概要	1
2. 沿革（年度）	3
3. 運営理念	8
4. スローガン	9
5. 行動規範	10
I 2024年度 事業計画骨子	11
第9期介護保険事業(支援)計画の基本指針(大臣告示)のポイント	12
その他(意思決定、合意形成、職場内情報共有等)	14
法人の組織図	15
理事・監事・評議員・第三者委員・評議員選任解任委員・運営協議会委員	16
2024年度予算計画書(案)	17
委員会の趣旨	19
II 事業経営	
○総務部の経営計画	20
総務課	23
会計課	24
総務部トータルサポート体制	
・施設保全係担当	25
・通所介護事業課担当	26
・施設事業課、医療事業課担当	27
・小規模多機能型、認知症対応型、相談支援事業課担当	28
・安全運転管理、庶務担当	29
○施設事業部の経営計画	30
施設事業課、地域密着型施設事業課の経営計画	31
・特別養護老人ホームアザレアンさなだ	33
・短期入所(アザレアンさなだ)	34
・大畑サテライト	35
・横尾サテライト	36
・栄養管理	37
認知症対応型事業課の経営計画	38
・萩曲尾グループホーム	39
・下原グループホーム	40
・真田グループホーム	41
・菅平グループホーム	42
・菅平グループホーム共用型	43

○在宅事業部の経営計画	44
通所介護事業課の経営計画	45
・デイサービスセンターアザレアン	46
・総合事業アザレアン	47
・訪問入浴サービスアザレアン	48
・萩の家	49
訪問介護事業課の経営計画	50
・ホームヘルプステーションアザレアン	51
・定期巡回随時対応型訪問介護看護	52
・居宅介護・重度訪問介護	53
・サービス付き高齢者向け住宅アザレアン	54
小規模多機能型事業課の経営計画	55
・大畑の家	56
・新田の家	57
○相談支援事業課の経営計画	58
・居宅介護支援センターアザレアン	59
・各事業所所属の介護支援専門員	60
○医療連携部、医療事業課の経営計画	61
・訪問看護ステーション真田	62
・各事業所所属の看護職員 PT・OT・DH・管理栄養士	63
○ナーサリーさなだ(企業所内保育所)	
・ナーサリーさなだ	64
Ⅲ 職員研修会・職員全体会議・4法人合同研修	65
○10年後のアザレアンを考える会	66
○「えぼし会」の計画	67

## 1. 法人の概要

1. 法人名称 社会福祉法人 恵仁福祉協会
2. 法人代表者 理事長 小林 彰
3. 法人本部所在地 長野県上田市真田町長 7 1 4 1 - 1
4. 設立年月日 平成4年3月31日（設立登記 平成4年4月13日）
5. 社会福祉事業

### ●第1種社会福祉事業

- ①特別養護老人ホームの経営（アザレアンさなだ、サテライト型居住施設、横尾サテライト）

### ●第2種社会福祉事業

- ①老人短期入所事業の経営（アザレアンさなだ）
- ②介護予防老人短期入所事業の経営（アザレアンさなだ）
- ③老人デイサービス事業の経営（デイサービスセンターアザレアン）
- ④介護予防デイサービス事業の経営（デイサービスセンターアザレアン）
- ⑤認知症対応型共同生活援助事業の経営（萩・曲尾グループホーム、下原グループホーム、真田グループホーム、菅平グループホーム）
- ⑥介護予防認知症対応型共同生活援助事業の経営（萩・曲尾グループホーム、下原グループホーム、真田グループホーム、菅平グループホーム）
- ⑦老人居宅介護等事業の経営（ホームヘルパーステーションアザレアン、24時間型ホームヘルパーステーションアザレアン）
- ⑧介護予防老人居宅等事業の経営（ホームヘルパーステーションアザレアン、24時間型ホームヘルパーステーションアザレアン）
- ⑨障害福祉サービス事業の経営（アザレアンさなだ(短期入所)、デイサービスセンターアザレアン）
- ⑩小規模多機能型居宅介護事業の経営（大畑の家、新田の家）
- ⑪介護予防小規模多機能型居宅介護事業の経営（大畑の家、新田の家）
- ⑫認知症対応型通所介護事業の経営（萩の家・菅平グループホーム共用型）
- ⑬介護予防認知症対応型通所介護事業の経営（萩の家・菅平グループホーム共用型）
- ⑭日常生活支援総合事業の経営（日常生活支援総合事業アザレアン）

### ●公益事業

- ①訪問看護ステーション真田の経営
- ②介護予防訪問看護ステーション真田の経営
- ③居宅介護支援事業（居宅介護支援センターアザレアン）
- ④訪問入浴介護事業（訪問入浴サービスアザレアン）
- ⑤介護予防訪問入浴介護事業（訪問入浴サービスアザレアン）
- ⑥宅老所スポットステイ（宿泊）事業
- ⑦地域交流施設アゼリアの管理運営
- ⑧地方自治体からの指定管理業務事業
- ⑨有償日常生活支援サービス事業
- ⑩サービス付き高齢者向け住宅の経営事業

⑩企業内保育所の経営事業

6. 役員

- 理事 7名 監事 2名
- 評議員 9名

7. 基本財産

●建物

アザレアンさなだ	2, 794. 89 m <sup>2</sup>
厨房棟	165. 70 m <sup>2</sup>
アゼリア	381. 14 m <sup>2</sup>
菅平の家	159. 56 m <sup>2</sup>
菅平グループホーム	202. 28 m <sup>2</sup>
萩・曲尾グループホーム、萩の家	335. 10 m <sup>2</sup>
下原グループホーム	402. 48 m <sup>2</sup>
真田グループホーム	199. 02 m <sup>2</sup>
新田の家	182. 59 m <sup>2</sup>
サテライト型居住施設 大畑の家	698. 29 m <sup>2</sup>
サービス付き高齢者向け住宅アザレアン	680. 40 m <sup>2</sup>

●土地

アザレアンさなだ敷地 (7筆)	14, 327. 88 m <sup>2</sup>
「菅平の家」敷地 (4筆)	3, 953. 23 m <sup>2</sup>
サテライト型居住施設 大畑の家	2, 525. 21 m <sup>2</sup>
「萩の家、萩・曲尾グループホーム」敷地 (2筆)	908. 53 m <sup>2</sup>

8. 運用財産

●土地

「菅平の家」敷地 (8筆)	4, 333. 42 m <sup>2</sup>
---------------	---------------------------

●建物

その他	470. 61 m <sup>2</sup>
-----	------------------------

## 2. 沿革(年度)

- 1991年(平成3年) 「社会福祉法人恵仁福祉協会」法人設立認可申請、(財)日本船舶振興会補助金申請「特別養護老人ホームの建築」(9月)  
法人設立、登記(3月)
- 1992年(平成4年) 特別養護老人ホームアザレアンさなだ等の建築着工(5月)  
特別養護老人ホーム認可
- 1993年(平成5年) 特別養護老人ホームアザレアンさなだ開設(4月)  
・特別養護老人ホームアザレアンさなだ 50床  
・真田町デイサービスセンターB型15名・E型9名受託  
・配食サービス開始(デイサービスB型選択事業)  
・在宅介護支援センター運営事業(真田町直営)一部受託  
ふれあい福祉健康ゾーン合同竣工式(5月)
- 1994年(平成6年) 訪問入浴サービス真田町単独事業受託
- 1995年(平成7年) 真田町デイサービスセンター受託事業の変更  
・B型 → A型(一般型から重度型)  
・訪問入浴事業の開始(真田町単独事業から国庫補助事業へ)  
・利用人員加算受託(15人 → 21人へ)  
・菅平地区サテライトデイサービス事業開始(法人独自事業)
- 1996年(平成8年) 真田町デイサービスセンター受託事業の変更  
・デイサービス早朝、夕方の利用延長サービスを開始  
・365日ホリデイサービス事業の受託  
長野県痴呆性老人先駆的処遇モデル事業受託(長野県単独事業)  
・疑似家庭療法(お座敷)  
・演劇療法  
・徘徊老人への外出支援  
(財)日本船舶振興会補助金申請「ショートステイの増築」
- 1997年(平成9年) 真田町デイサービスセンター受託事業  
・デイサービスセンターD型の受託(サテライトデイサービス長地区(長生涯学習館)本原地区(本原生涯学習館)傍陽(岡保公民館)菅平(菅平高原国際リゾートセンター))  
・キャラバンデイサービス(法人独自事業)  
・趣味の集い(法人独自事業)  
小規模市町村24時間ホームヘルプ事業の受託(県単独事業)  
個室ユニット型ショートステイ棟増築(2月) 10名  
長野県痴呆性老人先駆的処遇モデル事業  
・逆デイサービス「大庭の家」  
・疑似家庭療法(お座敷)  
・演劇療法  
・徘徊老人への外出支援  
訪問看護ステーション真田開設(3月)

- 1998年（平成10年） 曲尾グループホーム委託事業受託（10月） 6名
- 1999年（平成11年） 中原グループホーム委託事業受託（3月） 5名  
日本財団補助金交付申請「地域交流施設の増築工事」
- 2000年（平成12年） 介護保険法施行（4月）  
指定介護老人福祉施設アザレアンさなだ 50床  
指定短期入所生活介護事業アザレアンさなだ 20床  
指定通所介護事業デイサービスセンターアザレアン 25名  
・サテライトデイサービス（菅平高原国際リゾートセンター/  
西部コミュニティーセンター それぞれ9名）  
・痴呆専用併設型通所介護事業 10名  
指定訪問介護事業ホームヘルパーステーションアザレアン  
指定訪問看護ステーション真田  
指定居宅介護支援事業 居宅介護支援センターアザレアン  
指定痴呆性高齢者共同生活介護事業  
・曲尾グループホーム 6名  
・中原グループホーム 5名  
指定訪問入浴介護事業 訪問入浴サービスアザレアン  
地域交流施設アゼリア竣工（2月）  
・カフェ&ギャラリーSaana（エイブルアートギャラリー）  
・地域交流スペース  
・在宅介護支援センター  
介護予防生きがい支援事業受託  
・配食サービス「つつじ弁当」  
真田町独居用高齢者集合住宅管理事業受託  
小型自動車振興会車両整備補助申請・交付  
日本財団訪問入浴車助成申請・交付
- 2001年（平成13年） 指定痴呆性老人共同生活介護事業（真田グループホーム 5名）  
指定通所介護事業定員の変更（25名 → 35名）  
アザレアン移送サービス（（株）アート梱包運輸協力）開始
- 2002年（平成14年） 中原グループホーム定員の変更（5名 → 6名）  
宅幼老所（単独型通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業）の開設  
・「戸沢の家」（11月） 10名  
・「大庭の家」（11月） 10名  
日本財団訪問入浴車助成申請・交付
- 2003年（平成15年） アザレアンさなだ開設10周年記念式典（9月）  
宅幼老所定員の変更（戸沢の家、大庭の家 10名→12名）  
痴呆併設型通所介護事業休止  
宅幼老所の開設  
・「荒井の家」（3月） 12名  
通所介護事業所事業変更

- ・町原公民館（サテライト） 9名の追加
- 2004年（平成16年） 宅幼老所の開設
  - ・「南天神の家」（11月） 12名
- 2005年（平成17年） 宅幼老所の開設
  - ・「菅平の家」（4月） 12名
  - サテライト型拠点施設「大畑サテライト」の開設（12月）
  - ・特別養護老人ホーム本体より8床移転（10床）
  - ・指定短期入所生活介護 4床
  - 宅幼老所の開設
    - ・「大畑の家」（12月） 12名
  - 宅幼老所の開設
    - ・「山口の家」（2月） 12名
- 2006年（平成18年） 地域密着型サービスへの移行
  - ・認知症対応型共同生活介護（曲尾、中原、真田）
  - ・地域密着型介護老人福祉施設「大畑サテライト」
- 2007年（平成19年） 小規模多機能型居宅介護の開設
  - ・「大畑の家」（5月）登録18名・通い9名・泊まり3名
  - 地域福祉空間整備交付金を活用して「菅平グループホーム」の整備を開始（9月竣工 平成20年5月開設予定 定員6名）
- 2008年（平成20年） 小規模多機能型居介護の開設
  - ・「国分の家」（7月）登録18名・通い9名・泊まり3名
  - ・「南天神の家」（2月）登録18名・通い9名・泊まり3名
- 2009年（平成21年） 日本生命財団高齢社会先駆的事業助成（10月～）
- 2010年（平成22年） 「地域包括ケアモデル事業」上田市より受託（10月～）
- 2011年（平成23年） 地域包括ケアモデル事業「憩いの郷」（上原自治会）開設（8月）
  - 居宅介護支援センターえん 上田市常田に移転（9月）
  - 夜間対応型訪問介護「24時間型ホームヘルパーステーションアザレアン」の開設（11月）
- 2012年（平成24年） 社会福祉法人恵仁福祉協会創立20周年記念式典（5月）
  - 黒澤正憲初代理事長胸像建立除幕式（5月）
  - 建築基準法・消防法改正に伴うグループホーム新築移転（5月）
    - ・中原グループホーム(中原自治会)から
    - 下原グループホーム(下原自治会)へ
    - ・真田グループホーム(真田自治会)から
    - 真田グループホーム(真田自治会)へ
    - ・曲尾グループホーム(曲尾自治会)から
    - 萩・曲尾グループホーム(萩自治会)へ
  - 宅幼老所の廃止・認知症対応型通所介護の開設（6月）
  - ・大庭の家 廃止（サロン大庭へ移行）
  - ・萩の家 開設（萩・曲尾グループホーム併設）

- 地域支え合い体制づくり連携事業
- ・「サロン大庭」(大庭自治会)開設 (7月)
  - アザレアンさなだ浴室の大規模改修(7月)
- 2013年(平成25年) 「デイサービスセンターアザレアン」と「訪問入浴サービスアザレアン」を統合 管理者兼務(12月)
- 大畑の家・サテライト型居住施設にスプリンクラー設備を設置(1月)[長野県・上田市 介護基盤緊急整備特別対策事業]
- 2014年(平成26年) 地域密着型特養「横尾サテライト」開設 (4月)
- 小規模多機能型居宅介護の開設
- ・「新田の家」(5月) 登録18名・通い12名・泊まり4名(南天神の家サテライト)
- 認知症対応型共同生活介護の増築
- ・「下原グループホーム」(5月) 定員6名(既存「下原グループホーム」定員6名×2ユニット)
- [上田市介護基盤緊急整備特別対策事業]
- 2015年(平成27年) 宅幼老所「山口の家」の廃止(3月)
- 有償日常生活支援サービス事業の開始(11月)
- 厨房棟新築(12月)
- 2016年(平成28年) 宅幼老所「菅平の家」の休止(3月)
- ・サービス付き高齢者向け住宅アザレアンの開設(10月)
  - ホームヘルパーステーションアザレアン事務所の移転(10月)
  - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の開設(11月)
- 宅幼老所「戸沢の家」の休止(12月)
- 2017年(平成29年) 南天神の家・国分の家にスプリンクラー設備を設置(2月)
- [地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金交付(先進的事業支援特例)事業]
- 日常生活支援総合事業アザレアンの開設(9月)
- 2018年(平成30年) 地域交流施設アゼリア改修・1階多目的ホール(9月)
- 地域交流施設アゼリア改修・1階喫茶Saana(9月)
- 地域交流施設アゼリア改修・2階企業所内保育所(11月)
- 宅幼老所「荒井の家」廃止(12月)
- 宅幼老所「戸沢の家」再開(11月)
- 2019年(平成31年・令和元年)
- 小規模多機能型居宅介護「国分の家」休止(9月)
- 小規模多機能型居宅介護「国分の家」廃止(3月)
- 2020年(令和2年) 宅幼老所「戸沢の家」休止(7月)
- 緊急時発電設備設置・改修工事(アザレアンさなだ) (8月)
- [長野県地域介護・福祉空間整備等施設整備事業]
- 自家発電機設置(真田、下原GH・南天神の家) (11月)
- [上田市地域介護・福祉空間整備等施設整備事業]

- 長野県新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金支給事業  
(12月)
- 2021年(令和3年) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助事業(介護分)(3月)  
カフェアンドギャラリーSaanの営業終了(4月)  
居宅介護支援センターえん 休止(4月)  
サテライト型拠点施設「大畑サテライト」短期入所2床閉鎖  
長期入所10床から12床へ(4月)  
介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業(1月)  
長野県地域医療介護総合確保基金事業(介護従事者確保分)ICT導入  
支援事業(7月)  
長野県地域医療介護総合確保基金事業(介護施設整備分)(7月)  
介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業(1月)  
萩の家、萩曲尾グループホーム敷地(2筆)取得(2月)  
宅幼老所「戸沢の家」廃止(2月)  
居宅介護支援センターえん 廃止(3月)  
小規模多機能型居宅介護「南天神の家」廃止(3月)
- 2022年(令和4年) 日常生活支援総合事業アザレアン移転(4月)  
上田市学生等地域就職促進奨学金変換支援事業補助金交付(4月)  
長野県SDGs推進企業登録第13期(7月)  
業務用空調設備2基入替(長期入所ユニット)(9月)  
[社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業]  
社会福祉施設等価格高騰対策支援金支給申請(12月)  
社会福祉法人恵仁福祉協会 創立30周年記念事業(12月)  
防災協定の締結(取引業者6社)  
クラウドファンディング事業(CF信州・READYFOR)  
両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応コ  
ース)(11月・1月)  
サービス継続支援事業費補助金交付申請(2月)
- 2023年(令和5年) 職場いきいきアドバンスカンパニー認定(9月)  
寄贈福祉車両 全国福利厚生共済会(5月)  
新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所に対する継  
続支援金(12月)  
社会福祉施設等価格高騰対策支援金支給申請(10・3月)  
配食サービス事業の終了(3月)
- 2024年(令和6年) 日本財団補助施設の修繕・改造等による助成事業(4月)

### 3. 運営理念 「人として 幸せに 安心して 生きる日々を 大切に」

理念とは、理想的な介護、客観的な知識、事実裏打ちされた理論、そして、アザレアンさなだのすべての役職員の信念（思い）が統合されたものです。

そのため、理念は、具体的な実践ができる理論的な裏づけがなければ意味を持ちません。さらに、仕事に従事する者は、これらの理念を熟知し、日常の業務活動に反映させることが大切です。理念を前提に、事業所や職場に適応し成長し改善する姿勢が重要です。

アザレアンさなだの理念は、平成11年度に「アザレアンさなだの本質」を繰り返し展開した結果、生まれた13の要件をまとめたものです。その要件とは、

#### (1)生活の継続

住み慣れた地域やバックグラウンドにこだわり、住み替えやサービス利用でその人らしさが失われないようにします

#### (2)サービスタイミングと量の確保

適時、適量のサービス提供で、生活上のリスクを最小限にとどめる予防を進めます

#### (3)人づくり

理念を知り、その実現のために実践する人づくりを行います

#### (4)地域の信頼

地域の期待に応え、地域の信頼を得るようにします

#### (5)個別性

一人の人として認める「まなざし」を持ちます

#### (6)見守り

手をかけず、目を離さず常に見守る姿勢、態度を意識します

#### (7)仲間

地域で暮らす仲間、活動を共にする仲間、同じ思いを持つ仲間を大切にします

#### (8)自由の選択

自由は放任ではない事を理解します

#### (9)権利の尊重

人として尊重されるべき「権利」、その人が本来持つ「力」の存在を引き出す援助を心がけます

#### (10)サービスの選択

課題が明確にされ、何をどうしたいのかという葛藤に焦点を当て、「選択」に意味を持つ事を理解します

#### (11)サービスの質と量の確保

生活支援は包括的なサービス提供が前提です。そのためにはサービスの種類、質、量の確保は絶対条件です。したがって、「この程度でいい」は「その程度の暮らし」でしかないということを意識します

#### (12)本人の意思の尊重

「こうありたい」という意志がどのような場面、状態にあっても、あることを信じることから始まります

#### (13)人間理解

生活支援はその人を「知る」ことから始まります

## 4. スローガン

### 1. 「「理念」と「組織」と「人づくり」を一体に」

アザレアンさなだに掲げる理念は、高齢者支援の本質を述べるものであり、我々が悩み、困惑したときに立ち返ることの出来るものです。その理念を具現化することが、組織の役割・使命となりますが、そのため「組織」をどのような体制に組み立てて運営していくのかということが重要になります。そして「組織は人なり」と言われるように、「人づくり」が組織力の要になると考えます。

つまり、理念を共有し、理念の具現化に向けたモチベーションの高い人をどれだけ育成するかが組織の生命線になります。

法人では、職員一人一人のやるべき事が、事業計画、職務分掌、職能要件により示され、法人から職員への期待と、目標に向けた達成度を確認しながら個々が成長する仕組みがあります。これは、職員一人一人の作業が、より質の高いアザレアンさなだを作りあげていくためには必要であることを意味します。

### 2. 「ご利用者様本位で解りやすく、利用しやすく、迅速に、親切丁寧に」

高齢者福祉の課題は介護に特化されるものではなく、様々なニーズによって成り立っています。

社会福祉によって救済される必要のある事案と、自立支援のための社会サービスの利用が未だに混同し、「福祉サービス」として曖昧に取り扱われています。そこで、福祉サービス提供者として「説明責任」をもって提供し、曖昧な中でサービス提供が行われないように注意を図る必要があります。

特に社会福祉によって救済される必要のある事案には、市町村からの援助が適切に受けられる様に、当事者の立場に立って情報提供や制度活用、権利擁護や代弁等を行い、生活支援、介護支援、医療支援、経済支援等を包括的に提供していきたいと考えます。

### 3. 「NO」と言わず、まず「YES」から始める

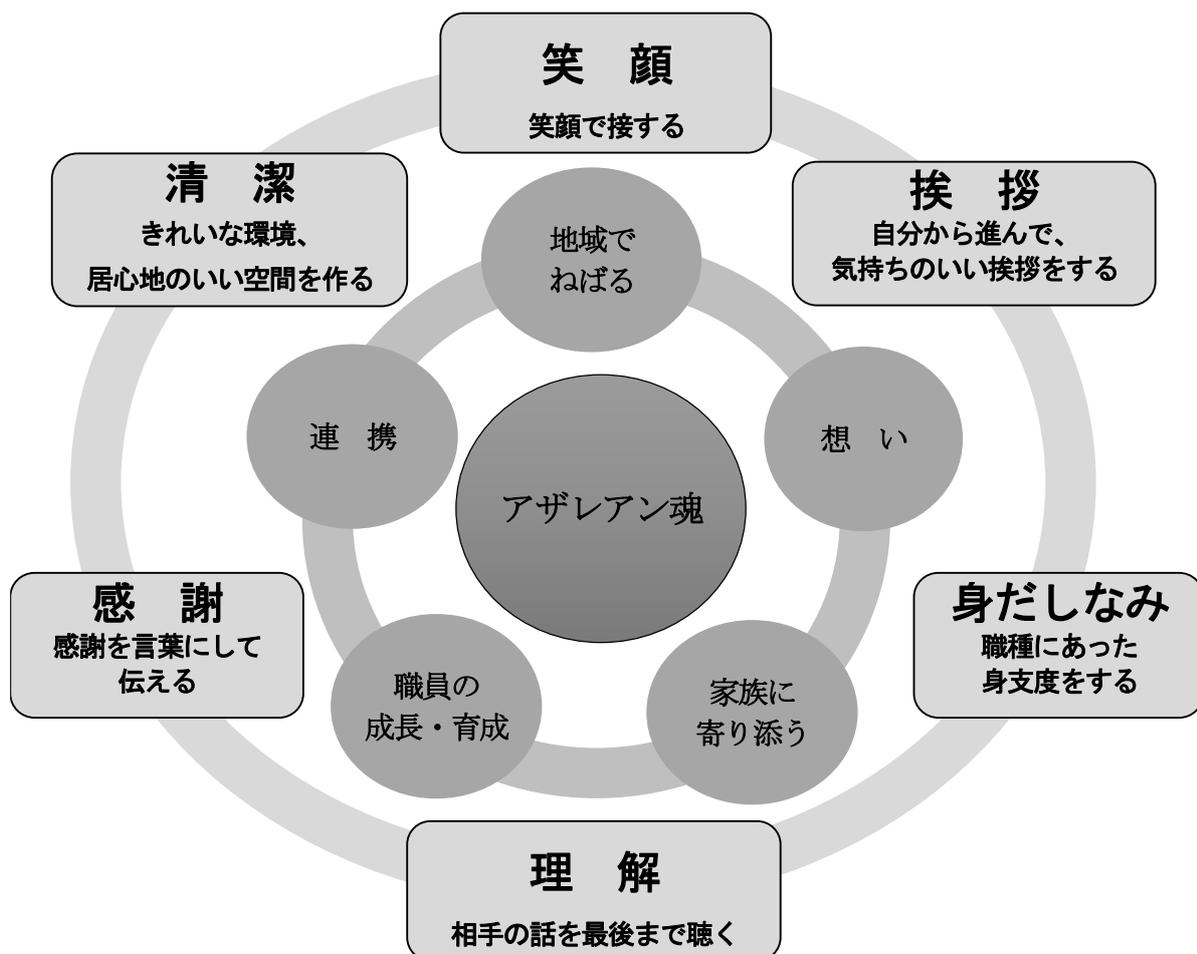
社会福祉法人の使命は、我々の都合でサービスを創り、提供することではなく、ご利用者様の気付くことができない「あるべき姿」の提案から出発していかなければなりません。

もし、法人の方針や体力が未成熟で、個々の要求に対して「NO」と言えば、法人、施設、ご利用者様、地域社会の成長も望めません。

「していないこと」ことを「出来ていない」には決してしないこと、まずは「YES」から始めること、考え工夫することを地域への約束とします。

- ・笑 顔 笑顔で接する
- ・挨 拶 自分から進んで、気持ちのいい挨拶をする
- ・身だしなみ 職種にあった身支度をする
- ・理 解 相手の話を最後まで聴く
- ・感 謝 感謝を言葉にして伝える
- ・清 潔 綺麗な環境、居心地のいい空間を作る

### 《アザレアン魂を体現する6つの実践》



## ○はじめに

2023年度はご利用者様の笑顔あふれるカレンダーを見ながら温かい気持ちで仕事に邁進した1年でした。何人かの方はすでにお亡くなりになりましたが、その方々の人生に最期まで寄り添っていただいた職員の皆様に感謝いたします。私達は日々「良い人生であった」と思っていただけのように職員一人ひとりが丁寧な支援を心掛け、その小さな積み重ねが私達を成長させ、沢山の経験をさせていただいています。

2024年度は、その経験を活かすことはもちろんのこと、下記に示す3つの重点目標（骨子）を立てさせていただきましたので、同じ目標をもって共にこの一年を歩んでいきたいと思えます。

## 1. 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

私達は介護・看護・支援・保育・業務において、より質の高いケアと温かいサポートを提供するために心を込めて取り組んでまいります。ご利用者様がお一人おひとり違うように、私達職員も一人ひとり違う個性を持っています。目指す目標は同じでも歩む速度や感じ方もそれぞれです。だからこそチームで、お互いに切磋琢磨しながら成長していきたいと考えています。

## 2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

（サービスの質の向上）

2021年度介護報酬改定において改定された「感染症対策の強化」「業務継続に向けた取り組みの強化」「認知症介護基礎研修の受講の義務付け」「高齢者虐待防止の推進」「施設系サービスにおける口腔衛生管理の強化」「施設系サービスにおける栄養ケア・マネジメントの充実」が2024年3月末までに経過措置が終了し義務化されます。特に虐待防止については、福祉サービスに携わるものとして、自分自身の仕事に人権意識と責任をもって取り組まなければならないと感じています。これからもご利用者様の声を聴くことを心掛け、高い倫理観と正しい知識を持ち、根拠を持った技術でご利用者様と向かい合い、安心と信頼と期待に応えていきます。

## 3. 地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

地域に点在している各事業所の透明性を担保するため、経営面での業務の効率化を語り、直接ご意見を伺える運営協議会、運営推進会議を大切にします。地域の皆様にホームページや、真田生き生きふるさと通信を通じて情報を発信していることを紹介し、より顔の見える関係を築くため、地域行事にも可能な限り参加します。また「子ども食堂」「おすそ分け会」「さなだ支え合い会議」「さなだの福祉を考える会」などの活動を通じて地域の皆様と共に「安心して暮らせる地域づくり」を目指していきます。また、地域に災害が発生した場合であっても、ご利用者様に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築するために、2022年度から地域の企業の皆様と防災協定を結ぶことができ、心強い応援団となっただけでなく、避難訓練等の実施に当たっては地域住民の参加が得られますようにご協力をお願いしてまいります。

## ○第9期介護保険事業（支援）計画の基本指針（大臣告示）のポイント

### 基本的考え方

次期計画期間中には、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年を迎えることになる。

また、高齢者人口がピークを迎える2040年を見通すと、85歳以上人口が急増し、医療・介護双方のニーズを有する高齢者など様々なニーズのある要介護高齢者が増加する一方、生産年齢人口が急減することが見込まれている。

さらに、都市部と地方で高齢化の進みが大きく異なるなど、これまで以上に中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえて介護サービス基盤を整備するとともに、地域の実情に応じて地域包括ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保、介護現場の生産性の向上を図るための具体的な施策や目標を優先順位を検討した上で、介護保険事業（支援）計画に定めることが重要となる。

### 見直しのポイント（案）

#### 1. 介護サービス基盤の計画的な整備

##### ① 地域の実情に応じたサービス基盤の整備

- ・ 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所のあり方も含め検討し、地域の実情に応じて介護サービス基盤を計画的に確保していく必要
- ・ 医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加を踏まえ、医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、医療・介護の連携強化が重要
- ・ 中長期的なサービス需要の見込みをサービス提供事業者を含め、地域の関係者と共有し、サービス基盤の整備の在り方を議論することが重要

##### ② 在宅サービスの充実

- ・ 居宅要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの更なる普及
- ・ 居宅要介護者の様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、複合的な在宅サービスの整備を推進することが重要
- ・ 居宅要介護者を支えるための、訪問リハビリテーション等や介護老人保健施設による在宅療養支援の充実

#### 2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

##### ① 地域共生社会の実現

- ・ 地域包括ケアシステムは地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るものであり、制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、地域住民や多様な主体による介護予防や日常生活支援の取組を促進する観点から、総合事業の充実を推進
- ・ 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備を図るとともに、重層的支援体制整備事業において属性や世代を問わない包括的な相談支援等を担うことも期待
- ・ 認知症に関する正しい知識の普及啓発により、認知症への社会の理解を深めることが重要

② デジタル技術を活用し、介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための医療・介護情報基盤を整備

##### ③ 保険者機能の強化

- ・ 給付適正化事業の取組の重点化・内容の充実・見える化

#### 3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上

- ・ 介護人材を確保するため、処遇の改善、人材育成への支援、職場環境の改善による離職防止、

外国人材の受入環境整備などの取組を総合的に実施

- ・ 都道府県主導の下で生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的に推進。介護の経営の協働化・大規模化により、人材や資源を有効に活用。
- ・ 介護サービス事業者の財務状況等の見える化を推進

第9期介護保険事業計画に向けて取り組むべき課題については、各地域の実情に応じた介護サービス基盤の整備、介護人材の確保、認知症施策のステージアップ、地域包括ケアシステムの進展、介護サービスの量と質の確保、災害対策の強化とBCPの策定支援などが挙げられます。これらの課題に取り組むことで、地域の実情に即した介護保険事業計画を策定することができます。

介護保険事業計画の基本指針には、高齢者人口がピークを迎える2040年を見通すと、85歳以上人口が急増し、医療・介護双方のニーズを有する高齢者など様々なニーズのある要介護高齢者が増加する一方、生産年齢人口が急減することが見込まれているとされています。このような状況を踏まえ、地域の実情に応じて地域包括ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保、介護現場の生産性の向上を図るための具体的な施策や目標を優先順位を検討した上で、介護保険事業(支援)計画に定めることが重要とされています。

具体的な施策としては、以下のようなものが挙げられます

地域包括ケアシステムの推進

介護人材の確保

介護現場の生産性の向上

介護予防の推進

認知症対策の推進

在宅医療・介護連携の推進

生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

地域ケア会議の推進

高齢者の居住安定に係る施策との連携

以上の施策が、介護保険事業計画に反映されることが期待されています。

## ○その他

### (1) 意思決定、合意形成、職場内情報共有

理事会（5月、7月、10月、1月、3月）、 評議員会（定時、随時）

運営協議会（年1回 7月）、 第三者委員会(年4回 5月、8月、11月、2月)

運営会議（毎月1回、随時） 理事長・常務理事・参与・部長、 経営会議（毎月1回、随時） 課長以上、 総務部会議（毎月1回、随時）、 拡大運営会議（10月 半期の見直し、2月 次年度の計画） 係長以上

職員全体会議（年2回、随時）、 職員研修会(毎月、録画視聴形式導入)

ケアカンファレンス、 サービス担当者会議、 入居判定委員会（年2回）

人材プロジェクト会議(トータルな人材マネジメントシステム構築、随時)

### (2) 地域、行政との連携

#### ①運営推進会議（2ヶ月に1回）

地域密着型サービス事業所等の自治会毎に設置し、ご利用者様、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的とします。

#### ②定期巡回・随時対応型訪問介護看護 医療連携推進会議（6ヶ月に1回）

関係機関、地域住民との意見交換

### (3) 委員会活動

委員会活動では、目的の明確化、部署間の職員の連帯、法人全体の業務改善に向けて、各事業所でのグループ活動の上位機関として委員会を設置し活動します。また、委員長会を立ち上げ、法人全体の委員会の統一化を図ります。

※各委員会の趣旨（別紙参照）

### (4) サービスの質の向上

#### ①サービス評価（自己評価・第三者評価）の受審

#### ②苦情処理委員会の運営

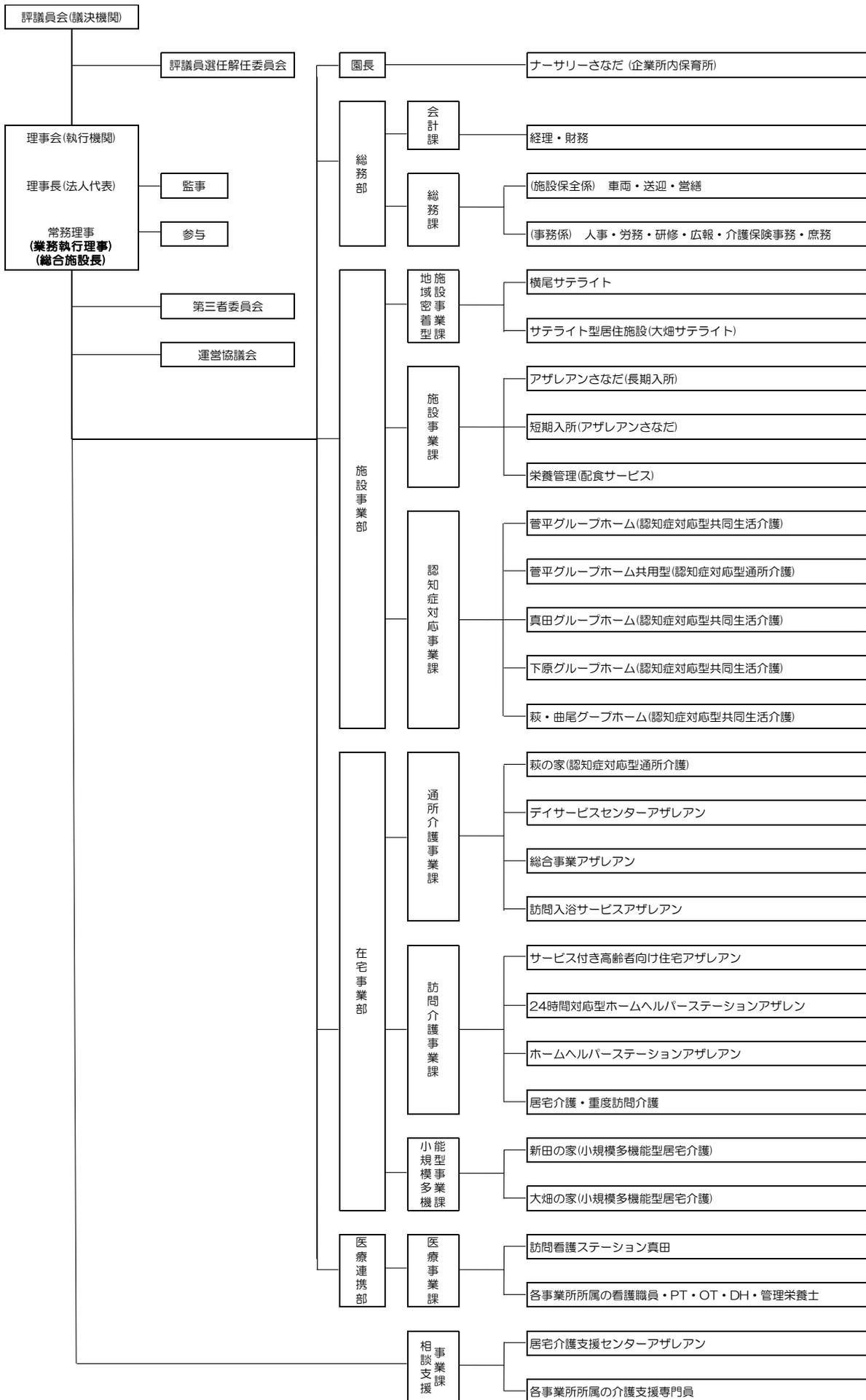
#### ③情報公表制度の受審（各事業所に備える情報の整理）

#### ④個人情報保護に関する指針の徹底

### (5) 対外事業

- ・みまき福祉会・依田窪福祉会・大樹会と協同の「4法人合同研修会」等を実施
- ・NPO法人「新田の風」の活動との連携
- ・NPO法人「長野県・宅老所GH連絡会」の活動への協力
- ・NOP法人「全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会」の活動への協力
- ・かりがね福祉会・上田市社会福祉協議会真田地区センター・NPO法人さなだスポーツクラブ・真田の郷まちづくり推進会議と共同の「さなだ支え合い会議」の活動
- ・かりがね福祉会・上田市社会福祉協議会真田地区センターと共同の「にじいろカフェ」（こども食堂）の活動
- ・上小圏域小規模多機能事業所連携会への参加(法人数11、事業所数15)
- ・上小圏域グループホーム相互評価会「フレンド会」への参加(法人数7、事業所数13)
- ・公益財団法人「日本認知症グループホーム協会」の活動への協力

○法人の組織図 2024年4月1日現在



○ 理事・監事・評議員・第三者委員・評議員選任解任委員・運営協議会委員

理事長	小林 彰	かりがね福祉会理事長
常務理事	福澤智子	高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ総合施設長
理事	小林忠正	医療法人小林会理事長
理事	黒澤一也	社会医療法人恵仁会理事長
理事	宮下俊哉	宗教法人長谷寺住職
理事	師川敦子	上田しいのみ会 苦情解決第三者委員
理事	水間雅典	社会医療法人恵仁会参与
監事	寺沢博文	睦寿会(特養 吉野の里) 監事
監事	中澤 創	中澤創公認会計士事務所所長
評議員	清水俊治	元上田市議会議員
評議員	青木和男	元利用者家族代表
評議員	小林 進	社会医療法人恵仁会参与
評議員	土屋充俊	土屋税理会計事務所長
評議員	青木千浪	真田地域ボランティア連絡協議会会長
評議員	内堀誠司	司法書士内堀誠司事務所長
評議員	竹倉征祠	元上田市高齢者クラブ連合会会長
評議員	飯島康典	一般社団法人 上田薬剤師会 会長
評議員	橋詰邦男	社会福祉法人八葉会理事 法人本部事務局長
第三者委員	木下文夫	社会福祉士
第三者委員	牧内勝利	有識者(元上田市社会福祉協議会委員)
第三者委員	小市正輝	有識者(元校長会長)
第三者委員	飯島恵美	行政書士
評議員選任解任委員	宮坂信之	東京医科歯科大学名誉教授
評議員選任解任委員	寺沢博文	社会福祉法人 恵仁福祉協会 監事
評議員選任解任委員	田中 晋	社会福祉法人 恵仁福祉協会 職員
運営協議会委員	小市正輝	民生児童委員会長 (第三者委員)
運営協議会委員	横沢憲治	元第三者委員
運営協議会委員	柳澤邦男	アザレアンえぼし会世話人
運営協議会委員	井澤俊喜	真田地域自治センター高齢者介護課高齢者支援係係長
運営協議会委員	若林政夫	行政書士
運営協議会委員	遠藤良和	かりがね福祉会 総合施設長
運営協議会委員	樋口俊文	横尾自治会
運営協議会委員	西澤直記	上田市立長小学校校長
運営協議会委員	木島徳行	真田町商工会 会長
運営協議会委員	木島好禅	特定社会保険労務士
運営協議会委員	永井悦子	恵仁福祉協会職員代表 (施設長)
運営協議会委員	山寺利恵	真田地域包括センター所長
運営協議会委員	荒井信吾	上田市消防団 第7方面隊 長分団長
運営協議会委員	柳澤治男	真田グループホーム 地権者
運営協議会委員	栗田 力	NPO法人 新田の風

○ 2024(令和6)年度 予算計画書

2024年度 資金収支予算書(案)

第一号第一様式

自 2024年 4月 1日  
至 2025年 3月 31日

社会福祉法人 恵仁福祉協会

単位:千円

勘定科目(大区分)		2024年度予算額(A)	2023年度補正予算額案(B)	増減(A-B)	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	808,308	775,390	32,918
		老人福祉事業収入	20,927	20,340	587
		保育事業収入	7,930	7,030	900
		障害福祉サービス等事業収入	7,313	8,890	▲1,577
		医療事業収入	21,536	22,450	▲914
		その他の事業収入 (サ高住 配食・コレフィア有償日常)	8,724	26,595	▲17,871
		経常経費寄附金収入	500	1,100	▲600
		受取利息配当金収入	5	5	0
		その他の収入 (利用者等外給食費収入・雑収入)	5,220	5,300	▲80
					0
	事業活動収入計(1)		880,463	867,100	13,363
	支出	人件費支出	648,747	644,665	4,082
		事業費支出	114,242	119,650	▲5,408
		事務費支出	51,268	55,395	▲4,127
利用者負担軽減額		652	552	100	
支払利息支出		3,761	4,403	▲642	
その他の支出 (利用者等外給食費支出・雑支出)		2,484	2,725	▲241	
事業活動支出計(2)		821,154	827,390	▲6,236	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		59,309	39,710	19,599	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	27,880		27,880
		施設整備等寄附金収入			0
		設備資金借入金収入	6,600		
		施設整備等収入計(4)		34,480	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	42,581	45,956	▲3,375
		固定資産取得支出	38,248	1,900	36,348
		ファイナンス・リース債務の返済支出	6,000	4,113	1,887
				0	
施設整備等支出計(5)		86,829	51,969	34,860	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		▲52,349	▲51,969	▲380	
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	300	300	0
		その他の活動収入計(7)		300	300
	支出	長期貸付金支出	500	500	0
		その他の活動による支出計(8)		500	500
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		▲200	▲200	0
予備費(10)		1,000		1,000	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		5,760	▲12,459	18,219	

○ 2024(令和6)年度 予算計画書 [支出計上特記事項一覧]

部署、管轄	金額(千円)	概要	事業所等
総務部			
	6,600	日本財団助成金による改造事業	総額 32,980,000円 助成金額 26,380,000円
	700	大畑の家、大畑サテライト LED化事業	総額 2,200,000円 助成金額 1,500,000円
	110	ボイラー保守	アザレアנסなだ
	200	床暖房修繕(サーモバイパス)	アザレアנסなだ
	401	給与ソフト明細メール発信OP	法人
	816	インターネット接続、サーバー保守等	法人
	11,118	車両管理(リース、車検等)	法人
	489	構内樹木管理委託	アザレアנסなだ
	829	消防設備点検	アザレアנסなだ
	60	受水槽清掃	アザレアנסなだ
	316	電気保守	アザレアנסなだ
	1,306	職員研修	法人
施設事業部			
施設事業課	600	居室エアコン入替 6台	特養、ショート、横尾サテライト
	2,340	ベッド関係レンタル 12台	特養、ショート、横尾サテライト
大畑	360	居室エアコン入替 3台	大畑サテライト
	330	ベッド関係レンタル 12台	大畑サテライト
栄養管理	3,063	栄養管理物品 各種リース、保守等	施設事業課、デイ、サ高住、保育室、職員
認知症対応型事業課	310	リフトリモコン工事修繕	萩曲尾グループホーム
	200	ボイラー工事	萩曲尾グループホーム
	310	リフトリモコン工事修繕	下原グループホーム
	200	ボイラー工事	下原グループホーム
	310	リフトリモコン工事修繕	真田グループホーム
	200	ボイラー工事	真田グループホーム
	310	リフトリモコン工事修繕	菅平グループホーム
	600	ボイラー工事	菅平グループホーム
在宅事業部			
通所介護事業課	261	カラオケ機材費用 (21,800円×12ヶ月)	デイサービス
	65	入浴リフト修繕	萩の家
	230	冷蔵庫	萩の家
	110	洗濯機	萩の家
訪問介護事業課	150	通信機器等(タブレット含)	ホームヘルパー
小規模多機能型事業課	167	ガス給湯器	大畑の家
	400	キッチン修繕(IH、オープン)	大畑の家
	140	トイレ修繕	大畑の家
医療連携部	360	i P a d通信費(30,000円×12台)	訪問看護ステーション真田
	111	i P a dほのほのインストール	訪問看護ステーション真田

※ 主に100千円以上の支出計画を一覧化したものです。

○委員会の趣旨

委員会名	趣 旨	委員長 計 画
倫理・人権委員会 (モラル・研修委員会)	倫理綱領に従い専門職としてサービスを提供できているか検証を行います。職員が行う事例研究等に対して倫理的な配慮のもとに実施されているか審査を行います。	加藤・兼宗 ご利用者に極上のサービスが提供できているかのアンケートを実施検証し職員の意識向上に努めます。
衛生委員会	職員の腰痛や転倒事故等の労災事故防止に向け巡視や危険予知活動などの安全衛生活動を行います。 (月1回の委員会を実施する)	志賀・小池 毎月の開催で各事業所の問題点を抽出し、対応策や改善策を検討していきます。
安全委員会 (事故)	主に車両事故防止に向けた教育と事故検証を行います。	依田・唐澤 交通安全週間に合わせ年4回の委員会を実施し、事故防止・安全運転の意識の向上に努めます。
安全委員会 (防災)	各事業所の防災対策意識を高める活動を行います。福祉防災施設として機能するための準備を行います。	田中広・宮島 3か月に一度委員会を開催し、職員の防災・減災意識を高め有事に備えます。
広報・ 地域支え合い委員会	真田活き活きふるさと通信の広報誌を活用し、法人への理解を深めてもらうとともにホームページへの掲載事項の更新を行います。 地域で活動する団体と協力し住みよいまちづくりのための活動を行います。	尾澤・土屋・酒井 年4回の通信を発行することで報人への理解を深めてもらうとともに、さなだ支え合い会議と連携し地域に向けたイベントに参加協力します。
感染症対策委員会	ご利用者様、職員に対する感染予防・食中毒予防のための取り組みを行います。企業所内保育所に向け全職員に関心をもってもらうためにも食育を進めていきます。	佐藤・片山 3か月に1回(状況により適宜)委員会を実施し感染・食中毒予防を徹底します。また職員研修では企業内保育所へ向け食育についても取り上げていきます。
リスクマネジメント 委員会	介護事故への対応と処理に対してのルール作りを行います。	山口・上野 事故の検証と事業所間の事故報告の共有を行い、事故防止に努めます
身体拘束適正化委員会 (虐待防止委員会)	ノーマライゼーションと人権尊重の理念のもと、法人一体となり身体拘束廃止に向けた取り組みを行います。	栗林・纒沢 アンケートや研修を通してご利用者への関わり方をアップデート出来るように、身体拘束・虐待防止の意味や方針を考える機会を提供していきます。
褥瘡予防・栄養委員会	食の重要性と安全に関わる勉強会を行います。 (食事形態・栄養・メニューに関する事) 褥瘡の理解を深め褥瘡予防を各事業所に広める取り組みを行います。困難事例の検討を通して具体的な治療・ケアを共有します。	池上・五十嵐 3か月に1回、委員会を開催し、褥瘡予防の理解を深め、事業所への発信を行っていきます。

## Ⅱ 事業経営

### ○ 総務部の経営計画 (部長：田中 晋)

総務部は「総務」「会計」「施設保全」の3部門で形成されています。2024年度事業計画骨子に基づき3つの重点目標について下記の通り具体的な行動計画を定めます。また、総務部全体の共通目標として意識を共有し、法人全体のサポート体制を図れるよう進めてまいります。

#### 1. 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

組織内で個々の職員の成長と発展を促進するために重要な意識改革の一つであると考えます。資質の向上に焦点を当てることは、個人の強みを最大限に活かし、組織全体のパフォーマンスの向上を図るため、下記の通りアプローチを実現するための具体的な手順を考えました。

- [個別面談と目標設定] 職員との個別面談を通じて、各人の強みや興味、目標を明確にします。その上で、資質向上のための具体的な目標を共有し、それに向けた計画を策定します。
- [トレーニングと研修] 各職員がスキルや知識を向上させるためのトレーニングや研修を活用します。これにより、自身の強みをより効果的に発揮できるようサポートします。
- [フィードバックの提供] 定期的なフィードバックを通じて、職員がどれだけ成長しているかを明示し、ポジティブな点や改善の余地を共有します。それにより自身の成長と意識向上の手助けになるように努めます。
- [仕事の調整] 職員の強みに基づいて、業務やプロジェクトを調整します。職員の得意分野で力を発揮しやすくなる環境を整えます。
- [共有と協力] 職員同士の協力を奨励し、お互いの長所を活かすようなプロジェクトや活動を推進します。チーム全体が協力することで、より良い結果が生まれやすくなると思います。

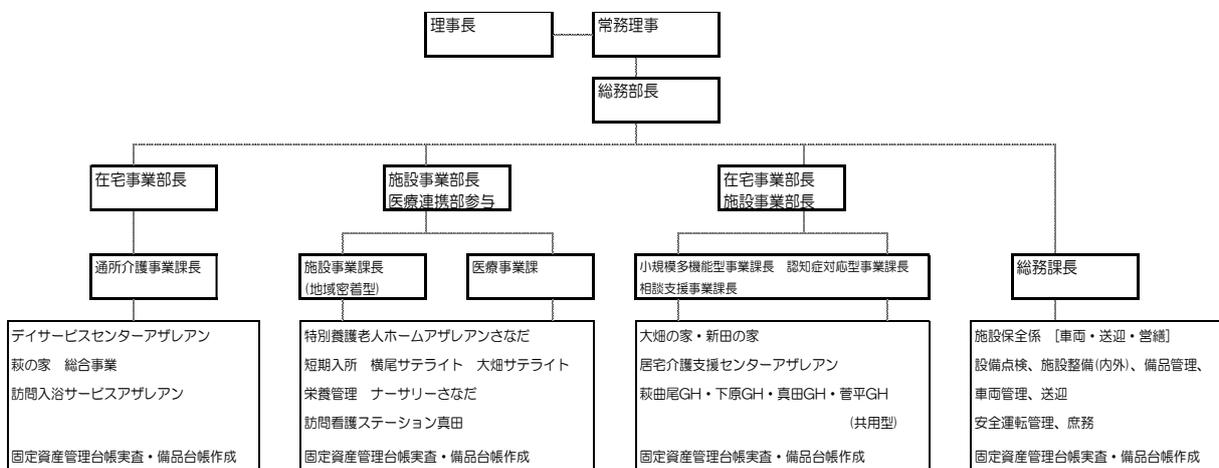
このようなアプローチにより、各職員が自分のポテンシャルを最大限に発揮でき、組織全体がより効果的かつ持続可能な成果を生み出すことを期待します。

#### トータルサポート体制の確立へ (総務部分散プロジェクト完成版)

組織体制として、総務課長に情報等集約、総務部長を総責任者とし、5部門に1人ずつ担当制を設けて従来業務にプラスして各部門の課題を現場レベルで共有できる環境を作り上げるイメージで2023年9月1日にスタートしました。担当事務員全員の理解と協力がなければスタートできないプロジェクトです。9～12月迄「実践期」として情報収集と事務協力に加えて運転部門の施設保全に重点を置いたトータルサポート体制確立と1月から4部門に集約し、新年度事業計画への具体策構築を目標に進めてまいりました。

今年度は担当者毎にサポート計画をたてて各事業所の定めた目標と連携を図れる位置にありたいと思います。

[トータルサポート体制イメージ図]



## 2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。

(サービスの質の向上)

### 「マイクロアグレッション」による有害性を認識する

マイクロアグレッションとは、一般的には非常に小規模で意識されにくい形態の差別的な行動や発言を指します。これは、他者に対して差別的であったり、侮辱的だったりするが、しばしば発言者自身がその差別的な性質を認識していないか、あるいは認識していてもいないかのような形態の行動や発言です。マイクロアグレッションは、被害者にとっては非常にストレスを引き起こすことがあり、組織や社会全体においても文化的な問題を反映している可能性があります。

マイクロアグレッションは、人種、性別、性的指向、宗教、身体的特徴、障害など、さまざまな属性に基づいて現れる可能性があります。例えば、無意識のうちに行われる人種差別やジェンダー差別の発言、ステレオタイプの強調、微妙な表情やジェスチャーなどが含まれます。

マイクロアグレッションの理解と対処は、多様性と包摂性を重視する社会や組織の構築において重要です。教育、意識向上、トレーニングなどが活用され、人々が相互尊重と理解を深め、差別的な行動を減少させるのに寄与することが期待されています。

### [マイクロアグレッションを行わないために]

対策としてはシンプルな事ですが、発言をする前に一度振り返ることです。この発言は相手に対して失礼にあたらないだろうか、無知やちょっとした関心から質問していないだろうか、相手の返答に自分は何を期待しているのだろうか？と客観的に立ち返る事です。また、コミュニケーションを取る相手を尊重することです。相手は自分と同じ人であり、自分の関心を満たすコンテンツではないという事から考える事です。どのような人間関係にも言えることですが、これを徹底することでマイクロアグレッションを防ぐことが可能になると考えます。

[参考資料 1]

### マイクロアグレッションの具体例

丸一さんへの取材による

言 動	暗に伝わる 偏見のメッセージ
<b>外国ルーツ・有色人種</b>	
「日本語上手ですね」 「なに人ですか」	▶ 日本人ではない、 よそ者である
電車で隣に座らない、 街中で警戒される	▶ 犯罪者予備軍、 危険な人である
<b>ジェンダー</b>	
高額の買い物をする際、 店員が男性パートナーに しか話しかけない	▶ 女性は意思決定者 ではない
女性の医師が看護師に 間違われる	▶ 女性はサポート役 である
<b>性的少数者</b>	
同性カップルがじろじろ 見られる	▶ 同性愛の「異常」扱 い

## 3. 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

### 外国人技能実習制度(TITP)について理解する

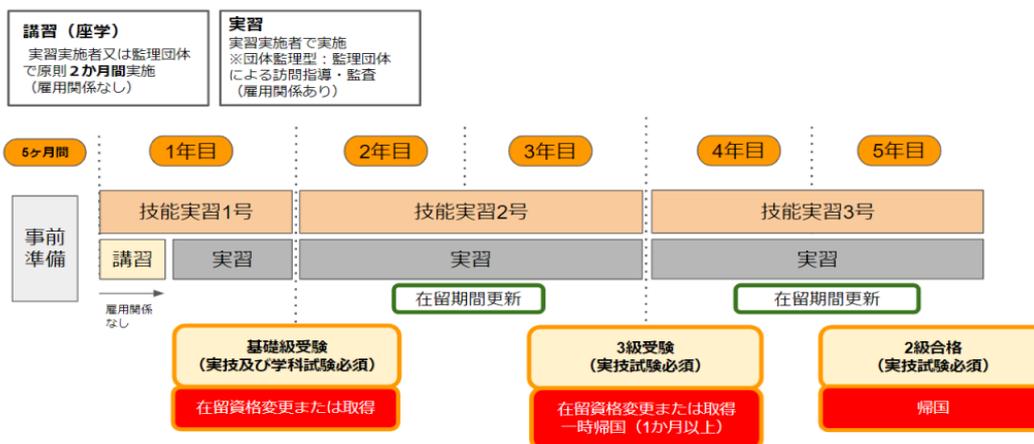
技能実習制度概要 (Technical Intern Training Program) とは、外国人の技能実習生が、日本において企業や個人事業主等の実習実施者と雇用関係を結び、出身国において修得が困難な技能等の修得・習熟・熟達を図るものです。期間は最長5年とされ、技能等の修得は、技能実習計画に基づいて行われます。

制度の目的・趣旨は 1993 年に技能実習制度が創設されて以来終始一貫している考え方であり、技能実習法には、基本理念として「技能実習は、労働力の需給の調整の手段として行われてはならない」(法第3条第2項)と記されています。

技能実習制度の目的・趣旨は、我が国(日本)で培われた技能、技術又は知識を開発途上地域等への移転を図り、当該開発途上地域等の経済発展を担う「人づくり」に寄与するという、国際協力の推進です。

また、TITPの前提として、国際協力を目的としているため、技能実習生を安い単純労働力として扱ってはならず「仲間」としての信頼関係を構築してまいります。制度をしっかりと理解した上で法人の理念に基づいた「人として、」の対応に大きな成果と法人の未来像に期待します。

[参考資料 2]



### 【具体的目標事項】

#### 財源の確保

安定した収益を得るための経営戦略を定め、地域の発展と職員の帰属意識を高めます。そして、下記に示した具体的目標事項を推進します。

#### 規程整備の継続と周知

法律の改正に伴う事項、取り巻く環境の変化に伴う事項、法人の運営に欠かせない目標設定に伴う事項、職員の労働環境改善に伴う事項等により、全ての業務の礎となる各種規程の適正化を進めます。また、規程全集(規程 45 種、マニュアル 9 種)の周知と改善意識の向上を図り、役職員全体で規程整備に取り組む体制を促進します。

- ・ 給与規程(定期昇給の導入等)
- ・ 就業規則(定年設定の適正、再雇用制度の具体化等)
- ・ パートタイマー就業規則(職員の半数を超える割合移行により、更なる充実が求められる)

#### 事務の整備と簡素化(アウトソーシング・電子媒体切替)

会計事務、給与計算事務、社会保険事務、介護保険請求事務等の業務に関しては、専門分野への委託も可能と考えられます。前年度計画にある、次期を担う世代への業務手順の構築と同時に進めていかなければならない事項とします。また、給与明細書のメール配信を実現すべく準備を令和 5 年度より進めています。各種紙媒体から電子媒体への切り替えを丁寧に行なっていきます。

#### 人材育成(次の世代へ)

総務業務全体像の共有(業務量の把握)と組織の整理について、具体的に検討する時期であると考えています。法人と職員にとって最適な方向性を示していけるよう意識向上を促進します。

#### 事業所巡回(施設保全、定期監査)の継続

事業所内の課題共有と早期解決。固定資産、備品管理台帳の完成(在庫管理・発注方法の統一化)。業務適正運営の確認(内部監査、小口現金管理の調査)。事故・労災等の発生件数、インシデントの対応、対策の共有。

#### 災害時の対応力

風水害、地震災害、積雪、設備老朽等による事業継続困難時の対応力を共有します。

#### 不妊治療と仕事との両立支援の促進 (前年度計画継続)

## 2024(令和6)年度 事業計画書

### 事業所名・管理者氏名

社会福祉法人恵仁福祉協会  
総務部 総務課 課長 宮川 浩

### 利用者定員 (登録者数)

職員数 240名

### 主な事業内容

職員の福利厚生に関する業務	補助金、助成金申請に係る事務
社保（健保、厚生年金、雇用、労保等）事務	災害対策業務
各種研修フォロー 全体研修、4法人等	地域貢献業務
各事業所の保身に係る事務	送迎業務、車両管理に係る業務

### 法人の運営理念、スローガンを定着するために

- 各会議開催の際には法人の運営理念とスローガンを唱和しています。また、窓口に来所されたご家族様や取引業者に対する窓口での対応、電話での対応を的確に行います。

### 事業所目標・利用率又は目標数値

- HPやfacebookから各事業所の空き情報を始めとする各種情報発信を行い、ご利用者の確保や職員の確保、魅力的な職場づくりを目指します。
- 各種助成金や補助金の情報を精査し、法人事業の継続維持に繋がるよう努力します。
- 2023年度より開始された「施設保全」係として、各事業所の維持・保全及び備品更新のお手伝いをします。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
上田市法人会・商工会加盟 子ども食堂(6)	上田地域企業ガイド参加 子ども食堂(6) おすそ分け会(1)	SDGs登録 CF実施 子ども食堂(12) おすそ分け会(2)	職場いきいきカンパニー登録 子ども食堂(12) おすそ分け会(2)	日本財団助成事業実施 子ども食堂(12) おすそ分け会(2)

### 具体的行動計画

#### ① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- 高校や大学の就職PR時には、具体的なキャリアアップの例を提示し、職員の質の高さをアピールします。
- 人材不足であっても、法人事業の継続維持が可能となるように各種研修や資格取得への情報を提供します。
- 中途採用者への研修等について体系を構築します。

#### ② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

- 全体研修を通して職員がお互いをリスペクトできるような職場となるような企画を提案していきます。
- 「アザレアンの職員だから可能」な福利厚生の充実に結びつく企画や制度を検討し、職員同士がご家族とともに健康で安心して働ける職場環境のさらなる充実を図っていきます。

#### ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- グリュックの会やさなだ支え合い会議の活動を「支え合い委員会」の皆さんにも参加してもらい、地域活動を一層盛り上げていきます。
- 外国人の実習生の受け入れが始まる中、新規参入の中途採用者や第2新卒の方の採用に繋がるような企画を考案し、地域から信頼される施設にしていきます。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

社会福祉法人恵仁福祉協会  
総務部 会計課 課長 依田和明

利用者定員 (登録者数)

職員数 240名

主な事業内容

月次試算表の作成	資金繰り
買掛金(業者支払等)支払業務	各種サービス利用料口座振替手続き
理事会・評議員会 会計報告書作成	決算書の作成
財務諸表等電子開示システムの登録	最終予算計画書の作成
国保連への介護保険請求業務	ご利用者への請求書発行業務

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・経営会議・総務部会議・運転手会議等 各種会議開催の際に法人の運営理念とスローガンを唱和しています。
- ・運営理念・6つの実戦・事業計画骨子の記載されたカードを携帯します。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・会計業務は、月1回 会計事務所と打ち合わせにより、正確な処理を行います。
- ・毎月の経営会議に前月の実績資料を提出します。
- ・介護請求業務は、各事業所と連携を図り、国保連・ご利用者様に正確な請求を行います。
- ・買掛金支払業務(業者支払等)は、二重チェックし、引き続き、正確な処理を行います。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
買掛金支払ミス 0件	買掛金支払ミス 0件	買掛金支払ミス 0件	買掛金支払ミス 0件	買掛金支払ミス 0件

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・会計業務は、毎月の経営会議で分かりやすく説明出来るよう知識を習得します。
- ・介護保険請求業務は、介護保険の知識を習得して、間違いのない請求をします。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

- ・職員同士、お互い思いやり心を持ち、安心して働ける職場環境にします。
- ・ご利用者・取引先等に感謝の心を常に持ちながら対応していきます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域の皆様に信頼されるよう各種の行事に参加し、情報交換を図り、豊かな福祉環境を目指していきます。
- ・外国人技能実習生が地域と交流を持てるよう協力します。

事業所名・担当者氏名

施設保全係他担当	宮川 浩
----------	------

利用者定員 (登録者数・職員数等)

職員数	240名
-----	------

主なサポート内容

・各事業所の定期点検の実施	・業者依頼時の見積り補助
・建物、車両、その他の不具合等の把握	・業者立ち合いの補助
・点検結果に対する対処法の検討と実施	・備品等更新、購入時の補助
・備品耐久年数に伴う予算計上の提案	・備品等に関する経費節減に関する相談

法人の運営理念、スローガンを定着するために

<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営理念や6つの実践の掲示がされているか、各事業所の定期点検・聞き取りの際には確認していきたいと思えます。</li> </ul>
--

業務目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検、聞き取り調査は管理者だけでなく、常勤職員・パート職員にも直接お聞きし、備品や建物の不具合等に対応できるようにしていきたいと思えます。</li> <li>・「なかなか言い出しにくい」ような案件や「些細な点」について意見をくみ取ること、職員の積極的な意識向上や「必要とされている職員」という意識向上に繋がりたいと思えます。</li> </ul>				
2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
緊急時発電機設置、自家発電機設置	ICT導入 菟敷地取得	特養エアコン更新、大畑サテ ボイラー更新	・定期点検、聞き取り調査開始 2回	・定期点検4回

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設保全として各事業所の「不具合」や「更新」についての聞き取りを通して日頃の多忙な業務を行っている中でも、より経費節減や施設維持のための目を持って業務にあたっていきます。</li> <li>・備品の更新や建物の保守を通して働く環境も改善し、「労災」等の事故が無くなるよう安全点検としての実施を心掛けます。</li> </ul>
---

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取組みます。

(サービスの質の向上)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の備品更新や建物の補修等を通して職場の環境改善を行う事が、より職員同士の職業意識向上に繋がるように貢献していきます。</li> </ul>
---

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉避難所」としての取り組みや対策を提供して地域で「親しみ」の持てる、「安全」で「信頼」される施設として認識してもらえるような掲示や情報発信をしていきます。</li> </ul>
--

事業所名・担当者氏名

通所介護事業課担当 依田和明

利用者定員 (登録者数・職員数等)

職員数 240名

主なサポート内容

・デイサービス 介護保険請求事務等	・萩の家 介護保険請求事務等
・訪問入浴 介護保険請求事務等	

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・会議開催の際に法人の運営理念とスローガンを唱和しています。
- ・運営理念・6つの実戦・事業計画骨子の記載されたカードを携帯して意識向上に努めます。

業務目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービス・萩の家・訪問入浴の介護保険請求に必要な知識を習得します。</li> <li>・介護保険請求事務はサポートセンターを活用してミスがないようにします。</li> <li>・請求システム(ほのぼのソフト)への入力は、正確な入力(入力ミスなし ミス0%)を目標とします。</li> </ul>				
2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
—	—	—	入力ミス 5%	入力ミス 0%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・管理者・現場職員と連携を図り、間違いのない介護保険請求業務をします。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・ご利用者様・ご家族様・取引業者はもちろんの事、職員に対しても感謝し、丁寧に対応します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・えぼし会の行事に参加し、地域との交流によりアザレアンさなだをPRします。

事業所名・担当者氏名

労務管理、医療事業課、施設事業課他担当 櫻井和加子

利用者定員 (登録者数・職員数等)

職員数 240名

主なサポート内容

労務管理 給与計算事務	毎月職員勤怠・給与計算事務
労務管理 申請業務	社会保険算定基礎・労働保険・給与所得税申告・労務関係助成金
訪問看護 請求業務	介護・医療保険実績・請求等事務

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・毎日確認している自分のスケジュール帳に添付します。
- ・部の会議、委員会で全員で唱和します。
- ・毎日の電話対応で相手の方へ親切丁寧な対応を心がけています。
- ・理念と組織の一体化のために他事務所協力体制を強化します。

業務目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の介護保険請求事務の流れを把握し、特養・ショートの各部門の担当者へ提案をしながら、事務効率化を進めてまいります。</li> <li>・総務部の仕事全体については昨年度より人員削減になっています。事務の効率化の為、仕事の見直しとマニュアル作成により部内のお互いの仕事を理解しながら休暇等、緊急時の協力体制ができる組織作りをします。</li> <li>・数値目標として「職員確保」常勤1名以上の定着を目指します。(訪問看護)</li> </ul>				
2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
常勤3名 (兼務P)1名	常勤3名 パート1名	常勤3名 パート2名	常勤3名 パート4名	常勤4名 パート4名

具体的行動計画

①職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・次世代への引き継ぎも含め仕事のマニュアル作成をします。
- ・訪問看護事務に必要な医療保険の専門知識を学びスキルアップをしながら、介護保険請求と医療保険請求両方を総務部で担い、訪問看護師がご利用者様への訪問業務に専念できるように専門職と事務部門の連携を強化します。

②「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・電話対応、窓口での受付では感謝の気持ちをこめて親切丁寧に対応することを心がけます。
- ・各事業所の勤怠を毎月確認しているため就業時間・時間外等改善できることを提案し、職員の皆さんが働きやすい職場づくりに貢献します。

③地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域では区の役員(福祉委員)として地域のお年寄りの方々との交流や地域の行事に積極的に参加していきたいと思っております。仕事外でも地域で貢献することは法人の職員として大切なことだと考えています。

事業所名・担当者氏名

小規模多機能型、認知症対応型、相談支援事業課他担当 横田真沙子

利用者定員 (登録者数・職員数等)

職員数 240名

主なサポート内容

・特養 介護保険請求事務等	・小規模多機能型事業所 介護保険請求事務等
・GH 介護保険請求事務等	・菅平 通所 介護保険請求事務等
・居宅介護支援事業所 請求書発行事務等	

法人の運営理念、スローガンを定着するために

・総務部会議開催時に法人の運営理念、スローガンを唱和します。

業務目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の介護保険請求が主な業務なので、介護保険について知識を習得し、ミスのない介護保険請求事務をします。</li> <li>・疑問点については管理者等に聞き、ミスのないようにします。</li> <li>・効率が図れる事務処理等、改善点があれば管理者等に提案してきます。</li> <li>・請求システム（ほのぼのソフト）への入力は、正確な入力（入力ミスなし ミス0%）を目標とします。</li> </ul>				
2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
—	—	—	入力ミス 3%	入力ミス 0%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

・介護保険請求事務を勉強して、事務業務をスムーズし、現場職員の負担を減らしていきます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

・心に余裕を持って業務に取り組めます。  
・ご利用者本人・ご家族・職員に対して笑顔で対応します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

・各事業所の行事・地域活動に参加します。

事業所名・担当者氏名

安全運転管理、庶務他担当 鎌田賢治

利用者定員 (登録者数・職員数等)

職員数 240名

主なサポート内容

安全運転管理業務	車両管理(定期点検・整備・保険・契約等)
通所介護事業、短期入所事業、受診・送迎	施設賠償、車輛等保険
PC管理(法人所有・リース)	高齢者集合住宅管理
物品管理、備品修繕、施設維持管理	勤務管理、ホームページ管理、庶務

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・会議時の唱和を通じて職員に周知します。
- ・理事長のことは回覧します。
- ・研修復命の理由を周知徹底します。
- ・法人全体での共有情報を公開します。

業務目標・利用率又は目標数値

- ・啓発資料の配布などを通して、職員の安全運転意識を高めたいと思います。
- ・車輛事故を減少できるように注意喚起していきます。  
(特に後退時、安全確認、死角に関する事故)  
繰り返し事故を起こす職員には、安全運転講習を受けて頂く予定です。
- ・業務の効率化を目指し、無駄な業務の見直しに取り組んでいきたいと思っています。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
交通事故 人身事故 0件 物損事故 23件	交通事故 人身事故 0件 物損事故 45件	交通事故 人身事故 0件 物損事故 51件	交通事故 人身事故 1件 物損事故 40件	交通事故 人身事故 0件 物損事故 20件以下

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・送迎従事者の個人差の統一化を図り、ご利用者様に格差を感じさせないようにサービスを提供していくことに努めていきます。
- ・職員一人ひとりの得意分野を活かした人員配置を行い、施設保全のサポートに貢献して頂けるように土台作りを行っていきます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・送迎、施設保全、備品管理を見直し、ご利用者様への満足度が高めていけるように努力していきたいと思っています。
- ・職員への連絡を密にし、急な業務変更や施設保全業務について、協力していける体制づくりを構築していきます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・譲り合い(横断歩道での譲り合いなど)の運転を心掛け、地域の皆様から信頼される法人を目指します。
- ・積極的に地域活動に参加してもらえよう情報提供を行い、地域の方々との交流を深めていきます。

○ 施設事業部の経営計画 （部長：永井悦子）

特別養護老人ホーム、横尾サテライト、サテライト型居住施設、短期入所生活介護、下原グループホーム、萩・曲尾グループホーム、真田グループホーム、菅平グループホーム、認知症対応型共用型通所介護

2024年度は職員一人ひとりがお互いを認め合い、協力し合い、話し合える関係性づくりを目指します。1つの事業所はチームとして構成され、目標を共有し、個々の役割を自覚していきます。チームのメンバーの仕事をお互いが補完し合える関係性を作ります。介護保険制度の中で求められている責務をチームで確認し、高い専門職意識を自覚していきます。そのためには研修の参加や、自己研鑽等に努め、プロとしてのサービス提供ができるようにします。どんな業務であっても一つひとつ丁寧にいき、ご利用者様の声、表情、しぐさに目を向け、根拠のある判断をします。

2024年度は介護報酬改定があり、施設の機能の評価が問われてきます。チームの一人ひとりが同じ目標に向かい、ご利用者様の生活が『その人らしく』過ごせるように支援していきます。介護の専門職は『生き生き』支援に対して、ご利用者様、ご家族様が納得できる過程を丁寧に進め最期の“ひととき”が穏やかな時間となるように話し合いを重ねていきサービスを提供します。相談専門職、医療、栄養、口腔、機能の専門職はご利用者様、ご家族様に対してわかりやすく説明できるようにします。

地域密着型事業所にとっては地域とのつながりをより強いものになるように運営推進会議の開催を継続していきます。そして地域密着型事業所（横尾サテライト、大畑サテライト、グループホーム、共用型通所介護）だけでなく法人への理解を深めていただけるように働きかけます。また、今年度は地域の方々との避難訓練の実施を実現します。

サービス運営が安定的に提供していけるように職員育成、人材確保、サービス提供の内容をより質の高いものとしていきます。その人らしく生活が送れるように、施設の機能を活用し他の在宅サービス事業所と連携していきます。

ご利用者様、ご家族様、地域の方々、関わらせていただく全ての方々に『アザレアンでよかった』と言っていただけるように努めます。

○ 施設事業課、地域密着型施設事業課の経営計画（課長(副施設長)：永井琢郎）

特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、サテライト型居住施設、横尾サテライトの安定的な経営及び運営をします。

ご利用様が最期まで「その人らしく生ききる」事を支援していきます。そのためには各専門職一人ひとりがスキルアップをし、多職種協働できる事業所を目指します。また慢性的な人材不足もある中で、人材確保、人材育成及び離職率の低下を目指し、働きやすい職場になるように尽力します。

1. 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- 各専門職が自分の専門性や役割を理解し、持っている能力を最大限活かせるように多職種でコミュニケーションを取り、協働していきます。
- 各専門職が自身の技術・知識を深められるように、内部研修及び外部研修に参加します。
- 職員が安心して働けるよう、個別面接の実施や意見交換を行う機会を作っていきます。

2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。

(サービスの質の向上)

- 各事業所で多職種が協働し、ご利用者様に喜んでいただける行事を実施していきます。
- 最期まで安心して過ごしていただけるように、各専門職がご利用者様、ご家族様の不安や揺れ動く想いに寄り添い、丁寧にわかりやすい説明をします。
- 日々のケアの際に丁寧な声掛けを意識し、ご利用者様が最期まで穏やかに過ごせるような関わりをします。
- 研修で学んだ事を実践し、エビデンスに基づいたケアを実践していきます。

3. 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- 運営推進会議を地域住民の方々がアザレアンさなの様々なサービスに対して理解を深めていただける機会とし、信頼してご相談いただけるような関係性の構築をします。
- 非常災害時に備え、地域住民の方々と合同の避難訓練を実施します。
- 家族や来所者の方々への挨拶等、接遇に取り組みます。
- 実習生や職場体験等の受け入れを行い、高齢者福祉に興味を持てるような機会を創出します。
- 行政機関及び医療・福祉関係機関との円滑な連携に努めます。

○ 施設事業課、地域密着型施設事業課の経営計画 （課長：山口和子・工藤カ）

特別養護老人ホーム、短期入所、サテライト型居住施設、横尾サテライト、栄養管理の経営をします。

ご利用者様一人ひとりに、最期までその人らしく生きる支援をしていくことを念頭に、安心した生活を提供していきます。職員が働き易く、楽しく仕事ができる職場作りを考えていきます。

1. 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

- ケアについて多職種が活発に話し合える環境を作り、ご利用者様のケアに良い結果が得られる事での喜び・やりがいを得られるようにしていきます。
- 職員一人ひとりが、自分の意見を言えることが出来る環境を作るために、日頃から些細な事でも密にコミュニケーションを取り、職員同士の交流を図ります、
- 職員一人ひとりの介護知識・技術の向上の為、施設内外の研修への参加が積極的に出来るように働きかけます

2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。

（サービスの質の向上）

- ご利用者様と共に過ごす時間、しっかりと向き合う時間を作る事で、ご利用者様の些細な変化に気づき、日々の生活を安心して送ることが出来るように支援していきます。
- ご利用者様・ご家族・職員が交流でき、皆様が喜べる行事の実施をします。
- ご利用者様一人ひとりの必要なケアを提供・実施することで、生活に張りができるよう支援していきます。
- 研修等に積極的に参加し学び得た事で、エビデンスに基づいたケアの実践をおこないます。

3. 地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

- 運営推進会議の実施を通じ、地域の方々へアザレアンさなだの事業の理解を深める働きかけをおこなっていきます。
- 地域住民とアザレアンさなだでの合同防災訓練の実施や地域行事・活動へ参加する事で交流を深めます。
- 地域の方々に積極的に挨拶・声掛けをすることで、地域の方々に信頼して頂けるような立ち振る舞いをしていきます。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

### 事業所名・管理者氏名

特別養護老人ホーム アザリアンさなだ 係長：栗林竜也

### 利用者定員 (登録者数)

30名

### 主な事業内容

特別養護老人ホーム

### 法人の運営理念、スローガンを定着するために

全体会議やユニット会議開催時の唱和を継続していきます。  
行動規範についてもユニット会議開催時に確認する事で、意識して業務を行える事を  
目指します。

### 事業所目標・利用率又は目標数値

ご利用様の体調変化への早期発見・早期対応に努め、入院になる前に対策を取る事で  
利用率の維持に努めます。(稼働率目標値 98.50%)  
スタッフの体調管理、感染予防に努めます。  
技能実習生の受け入れも含め働きやすい環境作りを目指します  
職員間でご利用様に合わせたケアを考え実践する事で、より良いサービスに繋がります。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
98.74%	98.31%	97.86%	98.15%	98.50%

### 具体的行動計画

#### ① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

職員間の意見交換や個別の面談の実施の中で、一人ひとりがチーム内での役割と目標を  
定めていきます。  
お互いを思いやり、協力し合える職場環境を目指します。

#### ② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。 (サービスの質の向上)

「受容」と「共感」を大切に、ご利用様の立場になって生活を考えていきます。  
ご利用様と関わる際の声掛け、動作、表情などを丁寧にしていきます。  
居室やフロアなどの環境整備に注視し、気持ちよく過ごせるように努めます。

#### ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

地域への行事参加、外出支援を可能な限り実施し、イベントを通して地域の方との交流  
を密に重ねていきます。  
歌や演奏などのボランティアの方を施設に招く事も検討します。  
来所されたご家族様や外部機関の方々への挨拶をしっかりと行っていきます。  
日々の発言・行動に気を付け、良い印象を地域で持っていただけるように心がけます。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

短期入所（アザレアンさなだ） 課長：山口和子

利用者定員（登録者数）

3床

主な事業内容

短期入所生活介護（併設型）	障害サービス 短期入所（空床利用）
多床室 3床	

法人の運営理念、スローガンを定着するために

全体会議やユニット会議開催時の唱和を継続していきます。  
行動規範についてもユニット会議開催時に確認する事で、意識して業務を行える事を  
目指します。

事業所目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の確保と定着を目指し、利用者定員を一人でも多く増やしていきたいです。</li> <li>・緊急ショートを受け入れや、特養の空床を減らす為にもロングショートを受け入れてスムーズな移行が出来るようにしていきます。（稼働率目標値 94%）</li> </ul>				
2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
95.41%	108.34%	103.33%	50%	94%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

職員間の意見交換や個別の面談の実施の中で、一人ひとりがチーム内での役割と目標を  
定めていきます。  
お互いを思いやり、協力し合える職場環境を目指します。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

（サービスの質の向上）

「受容」と「共感」を大切にし、ご利用者様の立場になって生活を考えていきます。  
ご利用者様と関わる際の声掛け、動作、表情などを丁寧にしていきます。  
居室やフロアなどの環境整備に注視し、気持ちよく過ごせるように努めます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

地域への行事参加、外出支援を可能な限り実施し、イベントを通して地域の方との交流  
を密に重ねていきます。  
歌や演奏などのボランティアの方を施設に招く事も検討します。  
来所されたご家族様や外部機関の方々への挨拶をしっかりと行っていきます。  
日々の発言・行動に気を付け、良い印象を地域で持っていただけるように心がけます。  
在宅で過ごされているご利用者様やご家族様を支えていくためにも、短期入所は必要不  
可欠ではあるので、人員の安定化を目指し、又地域の方に何かあればアザレアンがある  
んだと安心して過ごして頂けるように努めます。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

大畑サテライト 係長 山崎礼治

利用者定員 (登録者数)

12名

主な事業内容

ユニット型個室 12床

法人の運営理念、スローガンを定着するために

事務所やトイレ等、目につく場所に理念・スローガンを掲示します。施設会議やユニット会議時に復唱し、「見る、聴く、言う」機会をつくり、職員一人ひとりが常に意識できる環境をつくります。

事業所目標・利用率又は目標数値

入院者の減少、空床のベッドをつくらないようにし、稼働率 95%を目指します。利用者様の身体状態の変化に注意し、細めな安否確認や異常の早期発見等に努めます。				
2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
95%	91%	98%	(98%)	95%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

福祉サービス提供者としての自覚を持ち、自己覚知に努めます。研修参加等を通し、それぞれが自身の知識や技術の向上に努め、より質の高いサービスの提供を目指します。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

傾聴を大切にし、ご利用者様にしっかりと向き合い、安心・安全な幸せな日々を送ることができるよう支援に努めます。高い倫理観・正しい知識を持ち、根拠のあるケアを提供します。ご利用者様に喜んで頂けるような行事等を多職種で協働し、実施します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

運営推進会議等を通して、地域の方々にアザレアンさなだの取り組みについて知って頂き、より良い信頼関係の構築を目指します。非常災害時に備え、地域の方々と合同で避難訓練を実施します。

事業所名・管理者氏名

横尾サテライト 課長：工藤 カ

利用者定員 (登録者数)

10名

主な事業内容

ユニット型個室 10床

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- 運営理念、スローガンを出勤及び退勤の際必ず1回復唱する事で定着を図ります。
- 目に止まる場所に掲示する事で、意識づけ出来る様にします。
- 研修・会議参加の際は職員カードと共に携帯用カードを持参し意識づけを図ります。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ご利用者様の体調変化や異常の早期発見・早期対応する事で入院にならないようにし利用率の安定を図ります。
- 職員同士及び多職種と連携する事で、ご利用者様一人ひとりに最適なケアの提供をします。
- エビデンスに基づいたケアの実践を行います。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
96.00%	95.59%	99.13%	92.00%	98.50%

具体的行動計画

①職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- 職員一人ひとりが具体的に感謝や長所を言葉にし認め、尊重し合う事で自信の向上と、仕事がしやすい環境作りをしていきます。
- ユニット会議を通じ意見交換する事でチームとして共通意識を高め、ワンチームとして協力、フォローし取り組みます。
- コミュニケーションを密に取ることで、笑顔の絶えない明るい楽しい職場作りをしていきます。

②「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ご利用者様としっかり向き合う事で、些細な変化に気づき対応・対処が出来るように多職種と連携しサービスの質の向上を図ります。
- ご利用者様の誕生日や季節の行事に合ったイベントの企画をし、ご利用者様と向き合う楽しい時間の共有をしていきます。
- 業務が作業にならないよう常に優しいケアする事を心掛け実践します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ご利用者様のご家族や実習生、外部業者様等の来訪者へ笑顔で挨拶や対応をする事で、高評価して貰えるよう実践していきます。
- 地域活動・行事へ参加し交流する事で、地域の方々との関係向上に努めます。
- 施設内外での正しい立ち振る舞いをする事で、信頼向上に努めます。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

### 事業所名・管理者氏名

施設事業部 栄養管理 係長：片山 智恵美

### 主な事業内容

特養・通所の食事提供	サービス付き高齢者向け住宅の食事提供
保育所(ナーサリー)の食事提供	

### 法人の運営理念、スローガンを定着するために

栄養管理会議時に法人の運営理念とスローガンを唱和し、職員一人ひとりが意識できる機会を持ち、理解し役割を発揮できる環境作りを目指します。行動規範を実践することで、日常の業務活動に反映させ日々定着出来るように一人ひとりが意識します。

### 事業所目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な食事提供をします。</li> <li>・役割を理解し各事業所との連携に努めます。</li> <li>・利用される方も私たちも笑顔になれる食事提供を目指します。</li> <li>・配食実績(前年度%比)</li> </ul>				
2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食数の確保 -13%</li> <li>・他職種との情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新メニューの挑戦</li> <li>・配食利用者訪門</li> <li>・配食実績 -4%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進化した献立への挑戦</li> <li>・配食利用者訪門</li> <li>・配食実績 -14%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食数の確保</li> <li>・配食実績 -9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体制の構築</li> </ul>

### 具体的行動計画

#### ① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

心を込めて取り組み、そこで得る知識と経験が自らの成長の機会となっていることと受け止め、その知識と経験を自らが発揮する“意識する”姿勢に一人ひとりが努められることを期待します。

#### ② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

職場環境作りや他職種との連携を通して情報共有し、職員一人ひとりがご利用者様のニーズに向かい合い、理解を深め、寄り添えることを目標とし、食を通してご利用者様を支援します。

#### ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

地域活動の一環である清掃ハイキングでは地域の皆さんにアザレアンの味を知っていただき、より身近に感じられる機会となっていることと思います。こうした活動の継続と災害時には防災委員会との連携を通じ、支援要請に協力することを職場内でも意識を持ち、行動出来るように努めます。

○ 認知症対応型事業課の経営計画 ( 課長：田中 広一 )

萩・曲尾グループホーム・下原グループホーム・真田グループホーム・菅平グループホーム・菅平グループホーム共用型の安定した経営・運営に取り組みます。

1.職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・個々のもちまへの質を理解し学ぶ力を伸ばします。
- ・知識と技術を習得したものを活かします。
- ・理念に基づき、課題を解決するため必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育みます。  
(法人内研修会・訪問看護・グループホーム勉強会・外部研修の受講)

2.「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。

(サービスの質の向上)

- ・ご利用者様・ご家族・職員・地域お一人おひとりの声を傾聴します。
- ・行動には理由があることを理解し、最期まで本人の視点に立ったケアを実践していきます。
- ・医療・看護・専門職と良好な連携を取りご利用者様の暮らしやすさを提供していきます。
- ・責任と誇りを持ち、介護者側からの都合で行われる不適切なケアを改善し、高齢者虐待防止に取り組みます。
- ・業務を見直し改善に取り組み、職員間のコミュニケーションを円滑にしていきます。

3.地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

地域の皆さんにグループホームの事を理解してもらえ、オープンなグループホームを目指します。

各グループホームそれぞれ自らが地域へ出向き地域貢献する活動に取り組みます。

運営推進会議の活用を再考し、非常災害時を想定した訓練を地域の方々と行い防災・減災・感染症対策への意識を高め有事に備えます。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

萩・曲尾グループホーム (管理者)係長：西藤一成

利用者定員 (登録者数)

6名

主な事業内容

認知症対応型共同生活介護

緊急時短期利用

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・月ごとの事業所会議、カンファレンスの際に職員全員で唱和します。
- ・会議次第等にも大きく印字し、視認できるようにします。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・早期発見、早期連携、早期治療「入院者 0」を目指します。
- ・利用率 98 % (年間空床日数 44 日以内)

2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
93.4%	91.4%	99.5%	99.8%	98%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・職員一人一人が計画性・実行性を高め、自身が計画した事を外に発信し皆で実行する力を身に付けます。
- ・各居室担当が月ごとの各ご利用者様の課題分析を行い、カンファレンスにて問題提起できる力を高めます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取組みます。

(サービスの質の向上)

- ・ご利用者様一人一人のニーズに沿ったケアを行い、ご利用者様・ご家族様に安心し、感謝していただけるサービスを提供します。
- ・職員同士が『お互い様』の気持ちを忘れずに助け合える関係性を維持します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・運営推進会議を書面開催から対面開催に戻し、地域の皆様により理解し共生し合える関係性を再構築します。
- ・こちらから地域に発信していける事業やイベントを計画し、相互性のある地域に根付いた施設を目指します。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

下原グループホーム (管理者)課長：田中 広一

利用者定員 (登録者数)

12名

主な事業内容

認知症対応型共同生活介護

緊急時短期利用

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・理念、スローガンを会議で唱和し、介護のプロ意識の高いチームを構築していきます。
- ・理念に立ち返り、ケアの方向性をチームみんなで決めて実践します。
- ・「笑顔・挨拶・清潔・身だしなみ・理解・感謝」6つの実践します。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・早期発見、早期連携、早期治療「入院者0」を目指します。
- ・利用率98% (年間空床日数44日以内)

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
96.2%	96.5%	97.5%	99.7%	98%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・自分自身の長所と一緒に働く仲間の長所お互いを理解し、知識と技術を習得したものを理念に基づいた実践に活かします。
  - ・理念に基づいて、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育みます。
  - ・カンファレンス以外に年二回下原グループホーム会議を開催し、日々のケアを振りかえり働きがいのある組織づくりを行います。
- (法人内研修会・訪問看護・グループホーム勉強会・外部研修の受講)

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・明るく笑顔で挨拶して感謝を言葉に出し、相互理解を深めます。
- ・最期まで本人の視点に立ったケアを実践していきます。
- ・ご利用者様と職員共にゆっくりのんびり・ワクワク楽しい時間を創造していきます。
- ・医療、看護、専門職と良好な連携を取りご利用者様の暮らしを支えます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

地域の皆さんにグループホームの事を理解してもらえ、オープンなグループホームを目指します。

各グループホームそれぞれ自らが地域へ出向き地域貢献する活動に取り組めます。

運営推進会議の活用を再考し、非常災害時を想定した訓練を行い防災・減災・感染症対策への意識を高め有事に備えます。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

### 事業所名・管理者氏名

真田グループホーム (管理者)係長：五十嵐由美子

### 利用者定員 (登録者数)

6名

### 主な事業内容

認知症対応型共同生活介護

緊急時短期利用

### 法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・事業所会議の前に「運営理念・スローガン」を全員で唱和します。
- ・個人個人、仕事に入る前に「運営理念」を黙読します。

### 事業所目標・利用率又は目標数値

- ・早期発見、早期連携、早期治療「入院者 0」を目指します。
- ・利用率 98 % (年間空床日数 44 日以内)

2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
96.2%	96.0%	98.7%	99.4%	98%

### 具体的行動計画

#### ①職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・多様性を認め合い、一人一人のスキルが活かされる 1 年を目指します。

#### ②「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・名前を付けて挨拶することを継続するとともに、業務の様々な場面でも名前を付け、チームメンバーをリスペクトしていきます。
- ・事業所会議でメンバーの「良かったこと」をお互い発表し合う機会を持ちます。(人権意識を高めるために)

#### ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域の行事に参加し、地域の一員としての務めを果たします。
- ・運営推進会議を通じ、自治会の方とのつながりを持てるようにします。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

菅平グループホーム (管理者)係長：縷沢智子

利用者定員 (登録者数)

6名

主な事業内容

認知症共同生活介護

緊急時短期利用

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・カンファレンス(事業所会議)にて「運営理念・スローガン」を全員で唱和し、ご利用者様への日々のケアに反映していきます。
- ・気持ち良い挨拶と声かけを心掛け、相互理解と組織の一体化に努めます。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・早期発見、早期連携、早期治療「入院者0」を目指します。
- ・利用率98%(年間空床日数44日以内)

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
98.8%	98.9%	92.5%	99.7%	98%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・カンファレンス(事業者会議)の積極的参加と意見交換に努めます。
- ・各職員が担当を持ち、担当のご利用者様の日々の様子や変化について情報の集約を行い、カンファレンスに備えて課題の提起と解決に努めます。
- ・施設運営にかかわる全業務内容の共有化と未経験担当業務への実践に努めます。
- ・施設内外の研修会や勉強会に参加、知識と技術の習得と実践につなげます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・ご利用者様本位の介護・支援に対し全職員で方向性を統一し、良いチームワークで取り組みます。
- ・施設内の環境整備に努め、快適・安全な居住環境を提供するよう実践していきます。
- ・ゆとりある職場環境を作り、ご利用者様にゆっくり向き合った優しい介護に努めます。
- ・カンファレンス(事業者会議)にて「高齢者虐待防止」に関する勉強会(事例検討・意見交換)を実施します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域の行事やイベントの参加により地域とのつながりを大切にしていきます。
- ・「健康長寿リハビリ体操」の運営・参加を行い、地域の方々との交流に努めます。
- ・運営推進会議や避難訓練の実施を通し、事業所への理解と運営への協力が得られるよう取り組みます。
- ・保育園、小中学校との交流を深め、事業所についての理解を高めてもらえるよう努めます。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

### 事業所名・管理者氏名

菅平グループホーム共用型 (管理者)係長：縷沢智子

### 利用者定員 (登録者数)

3名

### 主な事業内容

通所サービス

保険外宿泊サービス

### 法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・カンファレンス(事業所会議)にて「運営理念・スローガン」を全員で唱和し、ご利用者様への日々のケアに反映していきます。
- ・気持ち良い挨拶と声掛けを心掛け、相互理解と組織の一体化に努めます。

### 事業所目標・利用率又は目標数値

- ・施設の運営内容などの開示と宣伝を行い、登録者数の増員を目指します。
- ・一人ひとりのニーズに合ったサービスの提供に努めます。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
365件 月平均30件	325件 月平均27件	184件 月平均15件	84件 月平均7件	240件 月平均20件

### 具体的行動計画

#### ① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・カンファレンス(事業者会議)の積極的参加と意見交換に努めます。
- ・ご利用者様の様子や変化について情報の集約を行い、カンファレンスに備えて課題の提起と解決に努めます。
- ・施設内外の研修会や勉強会に参加、知識と技術の習得と実践につなげます。

#### ② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・ご利用者様本位の介護・支援に対し全職員で方向性を統一し、良いチームワークで取り組みます。
- ・施設内の環境整備に努め、快適・安全な空間を提供するよう実践していきます。
- ・ゆとりある職場環境を作り、ご利用者様にゆっくり向き合った優しい介護に努めます。
- ・カンファレンス(事業者会議)にて「高齢者虐待防止」に関する勉強会(事例検討・意見交換)を実施します。

#### ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域の行事やイベントの参加により地域とのつながりを大切にしていきます。
- ・「健康長寿リハビリ体操」の運営・参加を行い、地域の方々との交流に努めます。
- ・運営推進会議や避難訓練の実施を通し、事業所への理解と運営への協力が得られるよう取り組みます。
- ・保育園、小中学校との交流を深め、事業所についての理解を高めてもらえるよう努めます。

## ○ 在宅事業部の経営計画 （部長：志賀早百合）

住み慣れた地域で在宅生活を送るご利用者様とご家族様を支えるため、在宅事業部として通所介護事業課（デイサービスセンターアザレアン、認知症対応型通所介護 萩の家、総合事業アザレアン、訪問入浴サービスアザレアン）、小規模多機能型事業課（大畑の家、新田の家）、訪問介護事業課（ホームヘルプステーションアザレアン、24時間型ホームヘルプステーションアザレアン、居宅介護・重度訪問介護、有償日常生活支援サービス、サービス付き高齢者向け住宅アザレアン）、相談支援事業課（居宅介護支援センターアザレアン）の経営をします。

2024年度、在宅事業部では法人の運営理念・スローガンを定着させ、それぞれの事業課でたてた事業計画の目標が達成できるよう取り組んで参ります。在宅で介護を必要とするご利用者様とご家族の介護負担の軽減のために在宅事業部全体がチームとなり情報提供、情報共有に努めながら良質なサービスを提供します。

### 1.職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

在宅事業部では職員の介護知識・技術の向上を目的とした研修への参加など学びの機会を提供し、職員のスキルアップを図ります。また、職員一人ひとりが目標達成に向けて個々の能力を発揮し、職員間の連携強化と働きやすい職場環境作りに取り組み、業務の効率化と生産性の向上に努めていきます。

### 2.「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

（サービスの質の向上）

ご利用者様、ご家族様の困りごとに対してしっかりと話を伺い、専門職としてその方に必要なサービスの提案とご希望に沿う支援策などを相談させていただきます。支援策としては法人内で連携会議を定期的に設け、各事業所の状況報告とご利用者様の情報提供・情報共有に努め、法人全体でご利用者様の支援に取り組んでまいります。また、職員一人ひとりが介護知識、技術を身に着けた専門職であることを自覚し、ご利用者様の尊厳保持と法令順守に努めます。

### 3.地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

ご利用者様がお住まいの地域住民からの相談事に対しても丁寧に対応し、アザレアンとしてご協力できることなど提案させていただき、良好な関係の構築に努めます。地域密着型の事業所では定期的に運営推進会議、介護医療連携推進会議を開催します。地域の方々にもご参加いただき運営に関するご意見、ご感想等をお聞きし、今後の経営に活かしてまいります。また、非常災害時にはハザードマップ、非常災害対策計画書を活用し、地域の方々とは協力態勢がとれるよう連携に努めます。

## ○ 通所介護事業課の経営計画 （課長：土屋 美穂）

デイサービスセンターアザレアン、日常生活支援総合事業アザレアン、訪問入浴アザレアン  
認知症対応型通所介護 萩の家、各事業所の業務の円滑な経営を図ります。

地域共生社会の実現のために、各事業所の特性を生かし、自主性・自律性をもとに安定的な、  
経営継続に努めます。多様化する介護ニーズ、地域の期待に応えられるよう福祉の充実・発展に  
取り組んでいきます。

### 1、職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

- ・理念に基づき、人材の確保と育成高い意識を持った人材の定着を図ります。
- ・チームとして信頼し合える仲間づくり、気づき、観察
- ・情報の共有化の取り組みや問題、課題解決に向けて積極的に改善していくチームづくりを構築  
します。
- ・良好な職場の人間関係の構築、維持に努めていきます。
- ・多様な職種、職務形態の職員との連携を密にします。
- ・ご利用者の在宅生活に役立つ機能訓練やアクティビティ活動、大人の学校の導入を促進して  
いきます。
- ・経営の安定化の為、人員配置、収入・支出を把握しながら、新規ご利用者の獲得、利用率の  
向上を図ります。

### 2、「ありがとう」が交わせる介護・支援・保育・業務に取り組めます。

#### （サービスの質の向上）

- ・ご利用者の意思及び人権を常に尊重し、安心安全を優先した、すべての皆様に優しい介護を  
目指します。
- ・ご利用者の選択と自己決定を尊重し、ご利用者の尊厳に配慮し、安心・安全な入浴サービ  
スを提供します。
- ・情報の共有・伝達・周知の迅速化を実施していきます。
- ・ご利用者の自立支援を進め、在宅生活の継続と介護者の負担軽減の支援をします。
- ・ご利用者の生活機能の維持・向上を目指します。
- ・早期発見、早期治療、行動予測による重大事故回避に努めます。
- ・終末期のご利用者様に対し、身体状況を考慮し精神的な苦痛の軽減を行います。
- ・ご家族様の介護負担の軽減のため、介護技術や介護知識等に関する相談、支援を行います。
- ・ご利用者一人ひとりの情報を関係機関、ご家族様へ報告を継続できるよう努めます。

### 3、地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

- ・地域福祉の拠点となる福祉ニーズに応えられる事業所を目指します。
- ・住み慣れた地域での生活が継続できるようご家族や知人・友人、地域住民との関係が継続、さ  
らに促進されるように支援します。
- ・感染予防を心掛けながら、健康を維持し、ご利用者に必要なサービスが安定的に提供される  
体制を構築します。
- ・災害時（火災、自然災害）に対する備えを強化し、地域住民の方、参加の訓練を実施します。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

デイサービスセンターアザリアン 管理者：永井 悦子

利用者定員 (登録者数)

40名/日

主な事業内容

通常規模型通所介護	キャラバンデイサービス
通所介護相当サービス	基準該当生活介護

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・ デイサービス会議での情報共有を促進します。
- ・ 事業所内の研修を実施します。
- ・ 職員同士でサービス内容、ご利用者様、ご家族様からの期待されている事業所像を考えます。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・ ご利用者様が『楽しみ・生きがい』を感じられる活動・サービスを提供します。
- ・ ご家族様の介護負担の軽減（時間）と、ご利用者様の生活機能・認知機能の維持・向上（身体的負担・精神的負担の軽減）を促進します。
- ・ 登録者数90名以上、稼働率90%以上の目標値を定めます。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
84.2名	86.2名	88.9名	91.6名	90名以上
86.2%	87.1%	92.0%	85.0%	90%以上

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

- ・ 1日1日のサービス提供の場をチームとして協力し合い、職員各自が役割を自覚していきます。
- ・ 他事業所との連携に努め、日頃から『報・連・相・打・根』を丁寧に実行します。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

（サービスの質の向上）

- ・ 在宅での生活環境（人・物）も含め、ご利用者様の生活支援に取り組みます。
- ・ ご利用者様の特技・出来ること・取り組んでいることを発見し、継続できるように支援します。
- ・ ご利用者様の様子・表情・言葉などから必要な情報を収集し、共有・連携をとります。

③ 地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

- ・ 地域の方々に理解が深められるように、運営推進会議での情報発信や、キャラバンデイサービスの活動、広報を行います。
- ・ 避難訓練の実施は特養との連携、地域の方の参加を依頼し、協力を得ていきます。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

日常生活支援総合事業アザレアン 管理者：依田 和明

利

用者定員 (登録者数)

13名 (1日あたり AM13名・PM13名)

主な事業内容

日常生活支援総合事業の運営

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・会議開催の際に法人の運営理念とスローガンを唱和しています。
- ・運営理念・6つの実戦・事業計画骨子の記載されたカードを携帯して意識向上に努めます。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・ご利用者の身体機能の維持・向上を目指していきます。
- ・身体機能の維持・向上はもちろん社会交流の場として充実した生活支援を提供いたします。
- ・登録者数 28名以上、稼働率 53.8%以上の目標値を定めます

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
25.3名 48.6%	28.6名 55.0%	26.4名 50.7%	22.4名 43.0%	28.0名 53.8%

具体的行動計画

- ① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

総合事業の職員はほとんど業務を兼務しているので、報・連・相を徹底し、情報を共有し、上質なサービスを提供します。

- ② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

- ・常にご利用者様に感謝の心を持ち、親切丁寧な対応をしていきます。

- ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・ご利用者様からの情報・地域包括支援センターからの情報を大切にし、地域とのネットワークを構築していきます。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

訪問入浴サービスアザレアン (管理者)係長：池上 茂子

利用者定員 (登録者数)

4名/日

主な事業内容

訪問入浴介護	予防訪問入浴
障がい福祉訪問入浴	

法人の運営理念、スローガンを定着するために

訪問入浴会議時に運営理念、スローガンの読み合わせを行います。  
職員一人ひとりが法人の理念を意識、共有していきます。  
ご利用者様の個性、意思を尊重し尊厳に配慮したサービスを提供します。

事業所目標・利用率又は目標数値

稼働率 95%(年間平均)を目指します。  
在宅で入浴困難なご利用者様に安心、安全なホッと心休まる入浴提供を行います。  
※ニーズの減少と職員減少により2台稼働から1台稼働が見込まれるため、目標件数を1ヶ月90件(2022年度実績124~154件)で設定しました。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
1,657件	1,560件	1534件 (74%)	1,221件 (62%)	1,043件 (95%)

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

職員一人ひとりの個性を尊重し、感謝の気持ちを伝え合いながら、同じ目標を共有しサービスの向上に努めていきます。  
互いの長所、短所を認め合い、チーム力を高めていきます。  
研修や資格取得に積極的に参加し知識、技術の向上を日々の業務に活かします。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

ご利用者様、ご家族様の思いに寄り添い積極的に、丁寧な関わりを目指します。  
ご利用者様、ご家族様の意思を最大限に尊重し心地よい入浴時間を提供します。  
スタッフ間で情報共有し、個々のニーズ、興味、関心に合わせあたたかな時間を届けていきます。  
四季を感じていただけるような工夫をし、楽しい入浴時間を過ごしていただきます。  
限られた時間の中で業務だけにとらわれず、ご利用者様、ご家族様の小さな変化に気づきコミュニケーションをとることで信頼関係を築いていきます。  
ご利用者様の喜びや安楽をやりがいに、心地よい入浴時間を過ごしていただきます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

地域の皆様が安心して暮らせるよう、住み慣れた自宅で身体への負担が少なく、ご利用者様一人ひとりに寄り添った入浴サービスをおこないます。  
気持ちの良い挨拶と笑顔、身だしなみを忘れず頼れる事業所を目指します。  
災害発生時、ご利用者様、に必要なサービスが安定して継続的に提供できる体制を構築できるよう地域、関係機関と連携していきます。

## 2024(令和6)年度 事業計画書

### 事業所名・管理者氏名

萩の家 (管理者)係長：酒井 知子

### 利用者定員 (登録者数)

12名

### 主な事業内容

通所サービス

介護保険外宿泊サービス

### 法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・法人理念を毎朝唱和することで意識付けを行い共有します。
- ・事業所会議で法人理念とスローガンを唱和することで支援の振り返りができ、より良い支援を行います。

### 事業所目標・利用率又は目標数値

- ・ご利用様が住み慣れた地域で心身ともに安定した状態で過ごしていただけるよう健康状態の観察や身体機能、認知機能の変化に気付くことができ、速やかに他職種との連携を行うことで継続した在宅生活を支援します。
- ・ご家族様との情報共有を密に行うことで、安心して在宅介護が行える環境を共に考え支援します。
- ・ご利用様の思いに寄り添い、役割ややりがいを持って居心地の良い環境を提供します。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
2,172件 月181件	2,246件 月187.2件	2,417件 月201.4件	1,866件 月155.5件	1,980件 月165件

### 具体的行動計画

#### ① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・職員一人ひとりが他者の意見を否定することなく聞くことで、相互理解を深め、発信ができ、共感し、共に考え、より良い支援に繋がります。
- ・「報・連・相・打・根」を実践し、共通認識を持つことで、個々のスキルアップを図ります。

#### ② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・行動規範「6つの実践」感謝の言葉を伝え互いに気持ちよく働ける環境を整えます。
- ・ご利用者様への敬意と尊厳を守る視点を持ち支援を行います。
- ・ご利用者様の「やりたいこと・出来ること」を観察し、生きがいや楽しみを職員も共に共感していきます。

#### ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・運営推進会議を通じて地域の方々に事業所の活動報告することで、認知と理解を深めていただきます。
- ・地域住民参加型の避難訓練を実施します。
- ・感染対策を行い、可能な限り地域行事への参加や小学校や保育園との交流を継続して行います。
- ・地域の方々に対し積極的に挨拶を行うことで顔見知りの関係の構築を行います。

○ 訪問介護事業課の経営計画 （課長：志賀 早百合）

訪問介護事業課として訪問介護、訪問型独自サービス、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅介護・重度訪問介護、有償日常生活支援サービス、サービス付き高齢者向け住宅アザレアンを経営します。

訪問介護事業課ではご自宅で支援の必要なお利用者様に向けたサービスを提供しています。ご利用者様が生活していくうえで必要なサービスが受けられるよう通常の訪問介護に加え、24時間体制の定期巡回・随時対応型訪問介護看護、介護保険外のサービスを提供する有償日常生活支援サービス、障害福祉サービスの居宅介護の事業を運営しています。また、サービス付き高齢者向け住宅アザレアンには訪問介護が併設しているため「サ高住」の入居者様に対しても訪問介護のサービスを提供しています。

1. 職員一人ひとりが長所を探り、のばし、深めます。（資質の向上）

- ・職員一人ひとりが経験年数やキャリアに合わせた知識・技術の向上に努め、専門職として質の高いサービス提供を行ないます。
- ・職員間の連携強化を図るために、チームとして相互理解を深め、助け合いの精神を持ち、共に成長できる職場環境を構築します。

2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

（サービスの質の向上）

- ・ご利用者様、ご家族様の困り事や相談事に耳を傾け、居宅介護支援事業所への報告と事業所としてできる限りの支援策を提案していきます。
- ・非常災害時や感染症の拡大などに直面した際は業務継続計画（BCP）に従い、適切な支援を行なっていきます。

3. 地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）。

- ・地域の一員であるという意識を持ち、地域活動への参加や近隣住民への挨拶などアザレアンの職員としてふさわしい行動を取っていきます。
- ・非常災害時などは互いに助け合うことができるよう日頃より情報提供、情報共有に努めます。
- ・介護医療連携推進会議を通じてアザレアンの事業に関する情報を発信し、サービスの特徴や事例などもお伝えしながらご意見を伺う機会を作ります。

事業所名・管理者氏名

ホームヘルパーステーションアザレアン (管理者)係長 : 尾澤 美恵

利用者定員 (登録者数)

定員なし  
実利用 40 名

主な事業内容

訪問介護事業
総合事業 (訪問型独自サービス)
有償日常生活支援サービス事業

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・事業所の会議開催時に法人の運営理念、スローガンを唱和しています。
- ・理念、スローガンを基に、ご利用者様に幸せな在宅生活を送っていただけるよう支援します。

事業所目標・利用率又は目標数値

・他事業所との信頼関係を大切にし、新規ご利用者様の獲得に努めます。				
2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
1 日平均 21 件	1 日平均 20 件	1 日平均 21 件	1 日平均 20 件	1 日平均 23 件

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・より質の高いケアと温かいサポートを提供するために常に心を込めて取り組んでいきます。
- ・職員が個々の能力を発揮し、お互いに切磋琢磨しながら成長していきます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。  
(サービスの質の向上)

- ・6つの実践にもある「理解・感謝」を意識し「ありがとう」を言葉にして伝えます。
- ・これからも、ご利用者様の声を最後まで聞くことを心掛けます。
- ・論理観を強く持ち、正しい知識と根拠のある技術を提供すると共にご利用者様の安心と信頼、期待に応えます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域の皆様のお声と繋がりをこれからも大切にし、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、質の高いサービスを提供します。

事業所名・管理者氏名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (管理者)係長：唐澤 聖子

利用者定員 (登録者数)

定員なし  
実利用者 5名

主な事業内容

定期巡回随時対応型訪問介護看護

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・運営理念は我々職員を結び暖める言葉であると意識し、ご利用者様の在宅生活を支援する喜びを感じていきます。
- ・会議等で理念、スローガンの唱和をし、業務中スローガンのカードを携帯することで定着を図ります。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・他事業所との連携や信頼を深め、新規ご利用者様の獲得に努めます。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
月平均 6名	月平均 6名	月平均 8名	月平均 7名	月平均 8名

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・より質の高いケアと温かいサポートを提供できるよう、職員同士個々の個性を尊重しお互いの長所に目を向け切磋琢磨することで成長していきます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・高い倫理観と正しい知識を持ち、ご利用者様お一人お一人の声に真摯に向き合い必要とされるサービスを根柢を持った技術で提供することで在宅生活を支援します。
- ・「ありがとう」の言葉を求めるのではなく、感謝の心を持ってサービスの質の向上を目指します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・医療介護連携推進会議などの場での情報発信や地域交流の機会を大切に、顔の見える関係の構築に努めます。

事業所名・管理者氏名

居宅介護・重度訪問介護 (管理者)係長：尾澤 美恵

利用者定員 (登録者数)

定員無し  
登録者 12名

主な事業内容

居宅介護  
重度訪問介護

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・事業所の会議開催時に法人の運営理念、スローガンを唱和しています。
- ・理念、スローガンを基に、ご利用者様に幸せな在宅生活を送っていただけるよう支援します。

事業所目標・利用率又は目標数値

・他事業所との信頼関係を大切にし、新規ご利用者様の獲得に努めます。				
2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
6月～ 月平均 17件	月平均 25件	月平均 59件	月平均 100件	月平均 100件

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・より質の高いケアと温かいサポートを提供するために常に心を込めて取り組んでまいります。
- ・職員が個々の能力を発揮し、お互いに切磋琢磨しながら成長していきます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・6つの実践にもある「理解・感謝」を意識し「ありがとう」を言葉にして伝えます。
- ・これからも、ご利用者様の声を最後まで聞くことを心掛けてまいります。
- ・論理観を強く持ち、正しい知識と根拠のある技術を提供すると共に、ご利用者様の安心と信頼、期待に応えます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域の皆様のお声と繋がりをこれからも大切にし、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、質の高いサービスを提供します。

事業所名・管理者氏名

サービス付き高齢者向け住宅アザリアン 管理者：志賀 早百合

利用者定員 (登録者数)

15名

主な事業内容

サービス付き高齢者向け住宅 15室

法人の運営理念、スローガンを定着するために

会議等で運営理念・スローガンを唱和しています。職員が常に意識し業務に入るよう周知していきます。  
行動規範についても職員の目に触れる場所に掲示し実践しています。

事業所目標・利用率又は目標数値

多方面に情報提供と情報発信を行ない、空室期間の短縮と100%の稼働率を目標にしていきます。

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
94.7%	94.4%	97.3%	95%	100%

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・職員一人ひとりが経験年数やキャリアに合わせた知識・技術の向上に努め、専門職として質の高いサービス提供を行ないます。
- ・職員間の連携強化を図るために、チームとして相互理解を深め、助け合いの精神を持ち、共に成長できる職場環境を構築します。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

私達は入居者様お一人お一人の個別ケアに努め、その方の家族同様の役割を果たしながら居心地の良い生活環境を整えていきます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

回覧板等をつくし自治会の活動内容を把握し、数年間でできなかった地域行事への参加やボランティアの受け入れなどを検討していきます。また、年2回開催される介護医療連携推進会議では自治会長、福祉委員の方にご参加いただき親交を深めてまいります。

○ 小規模多機能型事業課の経営計画 （課長：土屋 美穂）

大畑の家、新田の家では、住み慣れた地域で安心した生活を送れるよう、ご利用者様の置かれている環境を踏まえ、通い、訪問、泊まりを柔軟に組み合わせて、サービス提供をしていきます。

・新規利用者様の開拓と利用率の向上を図り、経営の安定に取り組みます。

1. 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

- ・理念を基に、職員一人ひとりとコミュニケーションを密にし信頼し合える、チーム作りに取り組みます。
- ・感謝の気持ちを常に持ち、働きやすい職場づくりに努めます。
- ・適正な人員配置をおこない、経営の安定を図ります。
- ・職員個々の目標に基づき、研修、勉強会に参加出来る機会を作ります。
- ・信頼関係構築、相互理解を深める為の面接を定期的実施します。

2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。

（サービスの質の向上）

- ・ご利用者様、こだわりを理解し、寄り添ったサービス提供に努めます。
- ・ご利用者様ご家族との信頼関係を築き、安心して生活を送っていただけるよう密なサポートを行います。
- ・常に丁寧な言葉使いに努めます。
- ・多職種との連携をし、情報共有することで、身体機能の維持、安定、向上を図ります。
- ・事故報告書を分析し、再発防止に努めます。

3. 地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

- ・2か月に1回、運営推進会議を開催し、活動状況の報告をするとともに、地域の皆様からのご意見、ご要望をお聞きし、事業活動を行って行きます。
- ・地域行事等にご利用者様と共に積極的に参加し、地域に根差す事業所を目指します。
- ・非常災害時に備え、地域の皆様に参加して頂き、年2回の避難訓練を実施します。

事業所名・管理者氏名

大畑の家 (管理者)係長：上野 和哉

利用者定員 (登録者数)

25 名

主な事業内容

通いサービス	よろず相談支援
訪問サービス	地域連携支援
泊まりサービス	ケアマネジメント業務

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・事業所会議の開始時に全員で理念・スローガンの読み合わせをして定着をはかります。
- ・運営理念・スローガンのカードを携帯し、いつでも確認できるようにします。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・利用者様の健康状態を維持して入院を防ぎ、在宅生活が継続できるように支援します。(職員や多職種間の連携、適切なアセスメント及びケアの実施、地域との協同などによって実現する。)
- ・新規利用者様獲得のため、相談があった際は断らずに話を聞き、丁寧な対応をします。また、こちらから積極的に空き情報を関係各所にお伝えします。(登録目標 18)
- ・感染症対策に努め、事業所からの感染症の発生を防ぎます。

2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
15 名	18 名	18 名	16 名	18 名

具体的行動計画

①職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・職員間でアクティビティや行事を計画し、利用者様に楽しんで頂くよう実践していきます。
- ・職員ひとりひとりが得意としていることを業務のなかで活かせるようにし、「長所が活かせる職場」にしていきます。

②「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の

向上)

- ・外出して利用者様と職員がともに楽しみ・喜びを共有し、助けあう機会を多く持ちます。
- ・季節に応じた行事や飾りつけを行い、季節を感じられる事業所づくりに取り組みます。
- ・ご利用者様やご家族、職員の気づきを大切にします。気づきに対して適切な対応ができるように「何をすれば良いか？」をみんなで考え、多職種・他機関と連携し、在宅生活の支援を実践します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域で開催される行事に利用者様と一緒に参加します。今まで参加できなかった職員も参加し、地域の方たちと顔なじみの関係を築きます。
- ・「災害時の避難所」として、非常時には事業所をオープンにします。
- ・運営推進会議の開催、よろず相談の受け付けなどを通じて「地域の中に相談できる場所がある」と認識してもらうように努めます。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

新田の家 (管理者)係長：兼宗 佐織

利用者定員 (登録者数)

25名

主な事業内容

通いサービス	よろず相談支援
訪問サービス	地域連携支援
宿泊サービス	ケアマネージメント業務

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・事業所会議の開催の時に、理念とスローガンの読み合わせを皆で実施します。
- ・理念・スローガンカードを携帯し法人の職員である事を意識します。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・感染対策を継続して行い、ご利用者に安心してご利用いただける事業所の運営に努めます。
  - ・多職種と協働し、お一人おひとりの個性・尊厳・笑顔を大切に、充実した毎日を送れる支援をしていきます。
  - ・新規のご依頼の際は、まずは肯定的な対応を心掛け、断らず経営安定に努めます。
- (登録目標 18)

2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
16名	20名	17名	14名	18名

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・職員同志、一人ひとりが相手の意見に耳を傾け、親身になり、協力する事で良い支援に繋がっていきます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます  
(サービスの質の向上)

- ・ご利用者様の笑顔があふれるアクティビティを行い、楽しい時間を過ごして頂ける関りを心掛け接していきます。
- ・イベント浴や季節の草花を飾りつけ、湯船につかりながら季節を感じながら、喜んでいただける様な入浴時間を提供していきます。
- ・目の前にいるご利用者の気持ちに意識を向け、誠心誠意最適な支援を探していきます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域の行事に、可能な限り参加できるよう計画していきます。
- ・非常災害に備え、防災避難訓練実施の計画を行い、地域の方々にご参加の依頼を行い、実施していきます。

○ 相談支援事業課の経営計画 （課長：小池 順子）

居宅介護支援センターアザレアン、各事業所所属の介護支援専門員の運営を行います。

適正な居宅介護支援を提供することにより心身の状態の維持、改善を目的とし関係機関との連携を図り、利用者様のニーズに踏まえつつ公正中立に総合的な支援を行います。

また、事業所毎の研修計画、参加、連携会議等を行い事業所全体で情報の共有を行い介護支援専門員としての資質向上に取り組みます。

1. 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

- ・ 専門職としての知識を深め計画的な研修会や事例検討会へ積極的に参加が出来るよう環境整備を行い法人全体及び個人の資質の向上を目指します。

2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。

（サービスの質の向上）

- ・ ご利用者様、ご家族様の思いに寄り添い、法人並びに他事業所との連携を強化し情報の共有を行います。
- ・ 自立支援に向けたケマネジメントに取り組みサービスの質の向上に努めます。

3. 地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

- ・ 地域の繋がりを大切に地域行事や地域ケア会議、地域づくりの会議へ積極的に参加しいつでも相談いただけるよう地域から信頼される事業所として取り組みます。

事業所名・管理者氏名

居宅介護支援センターアザレアン (管理者)係長：加藤 雅美

利用者定員 (登録者数/月)

270名

主な事業内容

居宅サービスの計画	サービス事業所との連携・調整
サービス実施状況の評価	利用者の状態把握
給付管理	要介護認定への協力
相談業務	介護予防ケアマネジメント (委託業務)
認定調査 (委託業務)	

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・週1回行う定例会議の中で、法人の運営理念・スローガンの読み合わせを行います。
- ・ご利用者の尊厳を守り、自立支援に向けたケアプランを作成します。
- ・公正中立な立場で支援を行います。
- ・住み慣れた自宅・地域での暮らしが継続できるよう、関係機関との連携を図ります。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・信頼される事業所となるよう、ケアマネジメントの質の向上を目指します。
- ・特定事業所加算Ⅱを継続できるよう体制を整えます。
- ・制度改正、人事異動の影響はありますが、今年度の請求件数を維持します。  
(介護保険請求 215件/月)

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
1,820件	2,775件	2,675件	2,560件	2,580件

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・各自年間の研修計画を立て、自己研鑽に努めます。
- ・研修を受けやすい環境を整えます。
- ・新人職員を迎え、相談しやすい職場を作ります。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

- ・ご利用者ご家族様や関係事業者の方、どなたにも誠実に対応します。
- ・ご利用者様ご家族様の思いをよく聴き、ケアプラン一緒に考え作成します。
- ・法人の一員として、他の部署との連携を強化します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域ケア会議や地域作り検討会に参加します。
- ・相談や依頼は断らずにお受けします。
- ・地域から信頼される質の高い事業所を目指します。

事業所名・管理者氏名

各事業所所属の介護支援専門員 課長：小池 順子

利用者定員 (登録者数)

9名 (5名)

主な事業内容

各事業所のケアマネジメントの理解	各事業所の情報共有と連携
介護支援専門員の専門職としての育成	連携会議の計画と研修会の開催

法人の運営理念、スローガンを定着するために

各事業所所属の介護支援専門員会議の開催時は、法人の運営理念とスローガンの唱和を行います。  
 地域での暮らしが継続できるようにご利用者様、ご家族様のニーズをお聞きして自立支援に向けたケアプランを作成し、中立公正な立場で支援を行います。

事業所目標・利用率又は目標数値

各事業所のケアマネジメントを理解し、情報の共有を行い、連携を取りやすくしていきます。法人の事業所全体で資質向上を目指します。				
2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
			会議開催4回	会議開催4回

具体的行動計画

- ① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

各事業所の介護支援専門員と計画作成担当者と共に参加が出来る様に、環境作りに努めます。  
 連携会議や合同研修への計画、参加の提案を行い法人の事業所全体で資質の向上に努めて行きます。

- ② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

ご利用者様、ご家族様の声をお聞きして、お一人おひとりのニーズに合ったサービス計画書を作成します。多職種との連携の強化と自立支援に向けたケアマネジメントに取り組んでいきます。

- ③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

地域の繋がりを大切にし、ご利用者様、ご家族様が安心して生活の継続ができる支援に取り組めます。

○ 医療連携部・医療事業課の経営計画（参与：若林 幸子）

医療連携部は、地域で在宅生活を送る療養者様や施設で生活する利用者様を専門的な角度から支えるため、医療連携部を運営いたします。（訪問看護ステーション真田の運営、各事業所に所属する看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士などの専門職）

2024年度は、診療報酬だけでなく同時に介護報酬と障害福祉サービス等報酬の改定がありトリプル改定となります。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けられるよう、地域包括的な支援やサービスを提供する「地域包括ケアシステム」の構築の実現と推進のために、医療・介護・福祉の連携体制が重要になってきます。その「地域包括ケアシステム」の推進のために地域の特性やニーズにあわせたサービスの提供に力を入れていきます。

1.職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。（資質の向上）

- ・職員が生き生きと仕事ができる職場環境を作り、専門職がひとりひとり考え行動し、施設にとどまることなく地域に発信できるように努めます。
- ・また、多職種とのネットワークを構築し、医療・看護・介護と連携、協働し、質の高いケアが提供できるように、職員教育及び育成の強化を図ります。
- ・療養者様やご利用者様の重度化、多様化、複雑化に対し各専門職の強みを生かしたサービスの提供と看取りの推進に努めます。
- ・職員一人ひとりが専門職としての自覚を持ち、自己の力を伸ばすための努力を行い、深めていき、様々な変化に対応できるよう努めます。

2.「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

（サービスの質の向上）

- ・日々感謝を忘れずに、療養者様やご利用者様が笑顔で暮らせるように、その人らしさを常に考え、支援に取り組んでいきます。
- ・各種の専門性をいかし、安全なサービスを提供できるよう、多機関、多職種と協働し法人の一員としてその役割を発揮するよう努力します。

3.地域から信頼される関係を築きます。（地域関係の向上）

- ・地域の実情に応じた提供体制の構築に努めます。そのために、地域のニーズを把握し、そのニーズに応えられるよう連携を図り、学ぶ、考える場を提供していきます。
- ・感染防止対策や災害対策に対して、どんな場合でも安全にかつ継続的にサービスが提供できるよう体制を強化します。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

訪問看護ステーション真田	管理者：若林 幸子
--------------	-----------

利用者定員 (登録者数)

訪問件数 4,500 件
--------------

主な事業内容

訪問看護業務	精神科訪問看護業務
定期巡回訪問看護業務（夜間も含む）	グループホーム医療連携
ショートステイ訪問看護	緊急時訪問看護業務
医療機関・各関係機関との連携業務	請求・管理業務

法人の運営理念、スローガンを定着するために

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員ひとり一人が、法人の理念を共有し、専門職としての意識を高め、スキルアップを図り地域に貢献します。</li> <li>・ご利用者様の気持ちに寄り添い、やりたいことや希望がかなえられるように、また、笑顔ある日々が送れるようにぬくもりのある看護サービスの提供に努めます。</li> <li>・人と人のつながりを大切にし、最期まで暮らせる地域づくりを目指します。</li> </ul>
--

事業所目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問件数 4500 件を目標とし、精神科訪問看護、終末期看護、小児看護など多様化する訪問看護に対応できるよう体制づくりを行い、ニーズにあわせた看護サービスの向上を目指します。</li> <li>・終末期看護においては、願いをかなえるための意思決定支援やグリーフケアに力を入れ、住み慣れた地域で限られた時間を安心して在宅で過ごすことができるように丁寧な支援に心掛けます。</li> <li>・業務の効率化を図るため、更なるICT化の推進を行います。</li> <li>・地域の中でつながる、支えるを大切にし、さらに新たに作り出す場所となれるように努力します。</li> <li>・3つの「シンカ」である「進化」、「深化」「伸化」する訪問看護ステーションを目指します。</li> <li>・安定したサービスを提供する体制を図るため、常勤職員の確保に努めます。</li> </ul>				
2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
2,829 件	3,356 件	2,842 件	(4,400 件)	4,500 件

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員それぞれが自分の知識や技術の向上ができるよう努力し、深めていくこと、そして変化に対応して変わっていくことができるよう、また、お互いに高められるような人間関係を構築し成長できるような環境づくりに努めます。</li> <li>・地域に向けて訪問看護の強みが発信できるような活動を目指します。</li> <li>・安全な医療、看護サービスを提供するために職員間での情報共有を行い、安全管理体制を整えていきます。</li> </ul>
---

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様やご家族様がいつも笑顔でいられるように、イベントデーなど、思い出に残る時間を大切に寄り添います。</li> <li>・関係者が顔の見える関係づくりを目指し、お互い理解しあえる人づくりを目指します。</li> <li>・思い出に残る写真を撮り、ご利用者様に提供していきます。</li> <li>・利用者様のやりたいことや希望することを実現できるよう活動していきます。</li> </ul>
--

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・強みである 365 日 24 時間体制をいかし地域を応援していきます。</li> <li>・訪問看護というサービスを地域の皆さまに知っていただけるように情報発信します。</li> <li>・「さなだの福祉を考える会」の推進を図り、地域にある関係機関や施設と連携していきます。</li> </ul>
--

事業所名・管理者氏名

各事業所所属の看護職員・PT・OT・DH・管理栄養士 係長：佐藤 幸永

利用者定員 (登録者数)

上記専門職

主な事業内容

専門職を活かした勉強会の開催	職員の育成・教育
地域への専門職としての発信	事例発表
地域の研修会・勉強会への参加	

法人の運営理念、スローガンを定着するために

・地域の皆様が笑顔で暮らし続けるために予防観点や重症化防止、自立支援を目指し専門職としての知識や技術を地域に発信していきます。

事業所目標・利用率又は目標数値

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で専門職とチームづくりをおこない地域に根ざします。</li> <li>・職員の育成・教育を行う事を継続していきます。</li> <li>・職員の連携を目的に計画的に会議を開催していきます。(数値目標)</li> </ul>				
2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
—	—	会議：年間0回	会議：年間2回	会議：年間4回

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

・お互いに自分自身を高めるために自ら課題をもち、より質の高いケアと温かいサポートを提供していきます。

・職員同士の個々の性質を認め、お互いに尊敬し合える関係性を築いていきます。

・研修に参加し、個々の知識向上に努めます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

・栄養マネジメントが義務化され、今まで以上のケアの質の向上が求められているので、より責任をもち、研修から取り入れた知識を還元していくように努めます。

・ご利用者の個性があるように、私達職員も違う個性を持っている為、お互いを尊重していくことで「ありがとう」の気持ちを大切に業務に取り組めます。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

・地域住民に、困った時は「アザレアンさなだ」に相談しようと思って頂けるように、何か依頼があった時は迅速に対応していきます。

・専門職として地域に出掛け、地域の皆様と顔の見える関係を築いていきます。

・地域の皆様と共に「安心して暮らせる地域づくり」を目指し、可能な限り地域行事や勉強会に参加していきます。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

ナーサリーさなだ(企業所内保育所) 主任：渋澤 陽子

利用者定員 (登録者数)

16名

主な事業内容

・企業所内保育所の運営	・園外保育
・保護者との面談	・季節の行事
・保育室のPR活動	・野菜や花づくり

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・職員会開催時、定例会の開催時には「運営理念」と「スローガン」の復唱を参加者全員で行っています。
- ・1人ひとりの子どもを尊重します。

事業所目標・利用率又は目標数値

- ・小規模ならではの良いところを特徴とした保育室にします。
- ・保護者が安心して預けられる保育環境を整えます。
- ・子どもの主体性を大切にします。
- ・保育の向上を目指します。

年度4月当初の児童数

2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標
8名	5名	6名	2名	5名

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・職員会などで自由に意見を発言し、互いを尊重します。
- ・BOXを用意し、保育士1人ひとりの良いところを書き入れて認め合い、自己肯定感を高めます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・子どもの気持ちに寄り添い、子どもの声に耳を傾けます。
- ・子どもの人権を尊重し、「尋ねる＝了解」の保育をします。
- ・一時預かりの充実をし、誰もが利用できる保育所にします。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・地域のイベントに参加します。
- ・あいさつの習慣を身につけます。

Ⅲ 職員研修会・職員全体会議・4 法人合同研修

職員研修会

- ・毎月録画視聴形式で研修を行いレポートを提出してもらいます。
- ・レポートを簡素化したので感想・意見・要望は必ず記入してもらいます。（講師に敬意を表して）
- ・その他専門職等のオンライン研修にも積極的に参加してもらいます。

職員全体会議

- ・基本的に年 2 回 4 月の事業計画、11 月の事業所復命報告についてはハイブリッド形式で行いません。（感染症の拡大状況や研修内容により集合研修とする場合もあります）

令和 6 年度 職員研修会・全体会議

月	内 容	担当
4月1日	令和6年度 事業計画発表 ZOOM 予定 10年後のアザレアンを考える会の「看取りの事例」 1例発表	理事長・常務理事・部長・課長 10年後のアザレアンを考える 会
5月	救急法・AEDの取り扱いについて	真田消防署より
6月	令和5年度事業報告会 ZOOM 予定 10年後のアザレアンを考える会の「看取りの事例」 2例目発表	理事長・常務理事・部長・課長 10年後のアザレアンを考える 会
7月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止の取り組みについて	身体拘束適正化委員会
8月	アザレアンさなだの防災対策について 職場の減煙・禁煙講座	安全委員会（防災担当） 衛生管理者
9月	認知症のケア	高齢者ケア研究会
10月	感染症予防・食中毒予防 食育・快眠講座	感染症対策委員会 片山管理栄養士
11月	事業所復命報告会	
12月	職場のハラスメントについて 日常健康支援講座	福沢常務理事 新関PT 大久保OT
1月	リスクマネジメント 介護事故防止について	リスクマネジメント委員会
2月	事故防止 ・ 安全運転について	安全委員会（事故担当）
3月	法令順守・個人情報 プライバシー保護について	倫理人権委員会

4 法人合同研修会 （担当：大樹会）

- ・全会とも集合研修とする
- 5月28日（火）新人研修会 会場 ベルポートまるこ （大樹会担当）
- 7月23日（火）中堅職員研修会 会場 アザレアンさなだ （恵仁福祉協会担当）
- 10月16日（水）居宅支援事業所研修会 会場 ケアポートみまき （みまき福祉会担当）
- 11月19日（火）施設ケアマネ・相談員研修会 会場 ベルポートまるこ（依田窪福祉会担当）
- ・交流ソフトボール大会等は状況により判断します。

2024(令和6)年度 事業計画書

事業所名・管理者氏名

10年後のアザレアンさなだを考える会  
上野和哉・田中広一

利用者定員 (登録者数)

職員数 240名

主な事業内容

「6つの実践」の周知及び実践	毎月1回定例会議の開催
社内報	人材育成・新人研修
広報活動(高齢者ケア研究会ブログなど)	

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・理念、スローガンを会議で唱和し、「魅力のあるアザレアンさなだ」にしていくために、『学ぶ、話し合う、つながる、うごく』をテーマに活動します。
- ・「笑顔・挨拶・清潔・身だしなみ・理解・感謝」6つの実践を法人全体へ周知し継続します。

事業所目標・利用率又は目標数値

毎月会議の開催	年間 12回	・委員の参加率	80%以上		
6つの実践の周知	年間 12回				
社内報の発行	年間 2回				
2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見込	2024年度目標	
会議年間7回	会議年間9回	会議年間2回	会議年間10回	会議年間12回	

具体的行動計画

① 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・人材育成として新人研修を担当します。教えるために自分たちも学びを深め成長していきます。
- ・中堅職員ともかかわりを持ち、職員が働きやすい職場づくりに努めます。
- ・事例、勉強会、会議を通し学んできたことを実践していきます。

② 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。

(サービスの質の向上)

- ・6つの実践を法人全体へ周知し働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。
- ・自分たちの立場だからできることは何かを考え、話し合い、提案・実践します。
- ・社内報を通じて、他事業所の取り組みを発信します。

③ 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・アザレアンさなだを地域の皆さまに、さらに知っていただけるよう行事や集いへ参加し、広報や実践報告などを行っていきます。
- ・地域の福祉事業所と交流する機会を持ちます。

○ えぼし会 令和6年度事業計画 （世話人代表：柳沢邦男 事務局：永井悦子）

えぼし会は平成6年6月にアザレアンさなだの入居者様やデイサービスのご利用者様、ご家族様によって『家族会』として発足されたのが始まりでした。

昨今、新型コロナウイルス感染症の影響で長年続いていた『カラオケを楽しむ会』の開催が中止しております。恵仁福祉協会の感染対策を基にぜひ開催ができることを願っています。

会の発足後様々な活動を行ってきました。『施設祭』『大忘年会』などの行事や、畑で野菜づくりを行い、ご利用者様、職員の皆様にお届けしています。畑の主な作物は、ネギ、ジャガイモ、大根です。作業はえぼし会の皆様と職員の皆様で行っております。また、ナーサリーのお子さんたちもジャガイモの収穫を体験していただいています。

活動を広報誌『真田生き生きふるさと通信』に掲載し、地域の皆様にもえぼし会に関心を持っていただき会員数の増加を目指していきます。

令和6年度 えぼし会 事業計画（案）

4月上旬	令和5年度 会計監査
4月下旬	令和6年度 えぼし会総会
4月下旬	ジャガイモ、ネギ植え付け作業
6月下旬	畑の草取り作業
8月上旬	ジャガイモの収穫 草取り作業 各授業所へ配布
8月下旬	大根種まき
10月上旬	畑の草取り作業
11月中旬	大根、ネギの収穫 各事業所へ配布